

# 1 調査設計の概要

## 1. 目的

この調査は、駒ヶ根市が少子化対策として結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の取り組みを構築するため、市民の結婚や子育てに関する現状や少子化問題に対する考え、市民が必要としている少子化対策の意向について把握し、少子化対策の基礎資料とすることを目的として実施した。

## 2. 調査対象（母集団）

平成 26 年 12 月 1 日現在の住民基本台帳における 20 歳から 49 歳までの男女 11,246 人を調査対象（母集団）とし、この中から無作為で抽出した 2,500 人をアンケート対象者として抽出した。

## 3. 標本抽出

### 3.1 標本数の確認

標本数の確認は、次の公式を用いて、信頼度 99.0%（信頼度係数 2.576）、誤差率±5%となる事を確認した。

なお、公式中の母比率は、設問の内容が多岐にわたることや、選択肢が複数であることなどを考慮し、標本数が最大となる二者択一（50%）を用いることとした。

$$\text{標本数} = \frac{\text{母集団の数}}{1 + \frac{(\text{母集団の数} - 1) \times \text{母比率}}{(1 - \text{母比率})}} \times \left( \frac{\text{誤差率}}{\text{信頼度係数}} \right)^2$$

信頼度係数表

信頼度(%)	68.3	90.0	95.0	95.4	99.0	99.7
誤差率(%)	31.7	10.0	5.0	4.6	1.0	0.3
信頼度係数	1.000	1.645	1.960	2.000	2.576	3.000

標本数検討表（駒ヶ根市 平成26年12月1日住民基本台帳による20～49歳）

母集団	標本数	信頼度	誤差率	母比率	信頼度係数
11,246	834	99.7%	5%	0.5	3.000
11,246	627	99.0%	5%	0.5	2.576

以上の計算により、今回の標本数は 627 名以上の回答があれば、信頼度 99.0%、誤差率±5%となる。（参考：標本数が 834 名であれば信頼度 99.7%、誤差率±5%となる。

今回のアンケート調査では、743 通の回答が得られた。したがって、アンケートは 99.0%以上の信頼度が得られている。

### 3.2 調査結果の信頼性

それぞれの設問における選択肢の回答割合から、母集団全体の回答割合の確からしさを推定することとなるが、その推定がどの程度信頼出来るかを統計的に見る。

ある設問に対して、当該設問への回答者数と、当該選択肢を選択した者の割合において、母集団における当該選択肢を選択する割合の誤差は以下の式で表される。

$$e = Z \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

上式において e : 絶対誤差  
 Z : 信頼度係数 (表 参照)  
 n : 当該質問への回答者数  
 P : 当該選択肢を選択した者の割合

上式によって計算した絶対誤差ごとの必要な回答者数を以下に示す。

e= 5.0 %  
Z= 2.576

P (%)	20	25	30	35	40	45	50
当該設問への回答者数 (人)	425	498	557	604	637	657	664

e= 4.5 %  
Z= 2.576

P (%)	20	25	30	35	40	45	50
当該設問への回答者数 (人)	524	614	688	746	786	811	819

e= 4.0 %  
Z= 2.576

P (%)	20	25	30	35	40	45	50
当該設問への回答者数 (人)	664	778	871	944	995	1,026	1,037

e (絶対誤差)  
 Z (信頼度係数)  
 n (当該設問への回答者数)  
 P (当該選択肢を選択した者の割合)

即ち、絶対誤差を 5.0%と見込んだ場合、ある設問に対して 664 名以上の回答が得られ、その内の 50%の人がAと答えていれば、母集団 (11,246 名) 全体においても、50%±5.0%の人がAと答えることが 99.0%で確かであり、また、別の設問に対して 688 名以上の回答が得られ、その内の 30%の人がBと回答した場合、母集団においても 30%±4.5%の人がBと答えることが 99.0%で確かである。

したがって、743 人から回答が得られたので、ほぼ絶対誤差±5.0%以下の精度が確保で

きた。

#### 4. 実施期間

平成 26 年 12 月 4 日 ～ 平成 27 年 1 月 13 日まで

方 法： 郵送による配布・回収

配布数： 2,500 名

#### 5. 回収結果

回収数： 743 名（未回収 1,757 名）

回収率： 29.72%

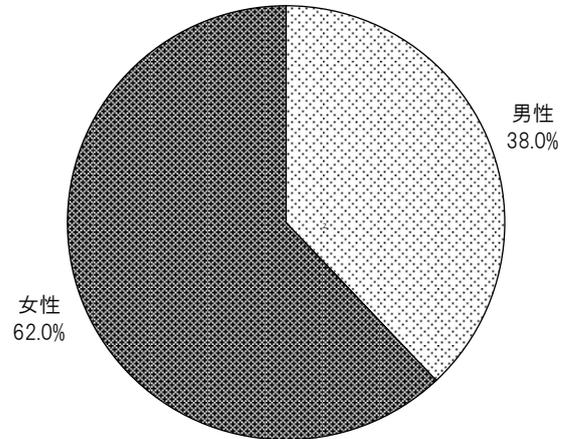
## 2 全員回答1（回答者属性含む）

### 問1 あなたの性別は

性別は、男性が38.0%に対し女性が62.0%が多い。

選択項目	回答数	構成比
男性	282	38.0%
女性	461	62.0%
無回答	0	-
計	743	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

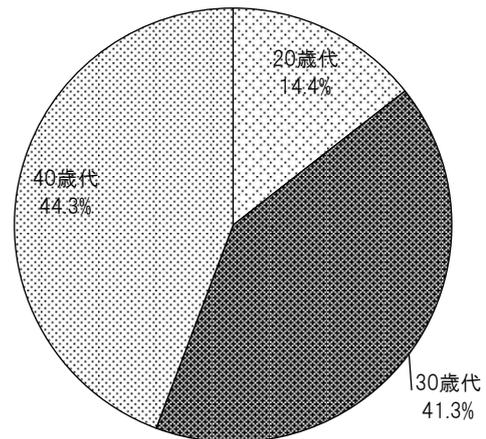


### 問2 あなたの年代は

年代は、「30歳代」と「40歳代」が共に40%代でほぼ同じく、「20歳代」が14.4%で低くなっている。

選択項目	回答数	構成比
20歳代	107	14.4%
30歳代	307	41.3%
40歳代	329	44.3%
無回答	0	-
計	743	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

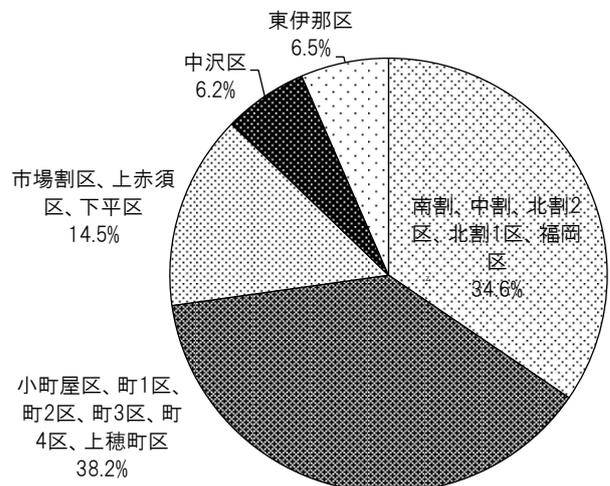


### 問3 あなたのお住まいの地区は

「小町屋区、町1区、町2区、町3区、町4区、上穂町区」が38.2%で最も多い。また、「中沢区」が6.2%で最も少なくなっている。

選択項目	回答数	構成比
南割、中割、北割2区、北割1区、福岡区	255	34.6%
小町屋区、町1区、町2区、町3区、町4区、上穂町区	282	38.2%
市場割区、上赤須区、下平区	107	14.5%
中沢区	46	6.2%
東伊那区	48	6.5%
無回答	5	-
計	743	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

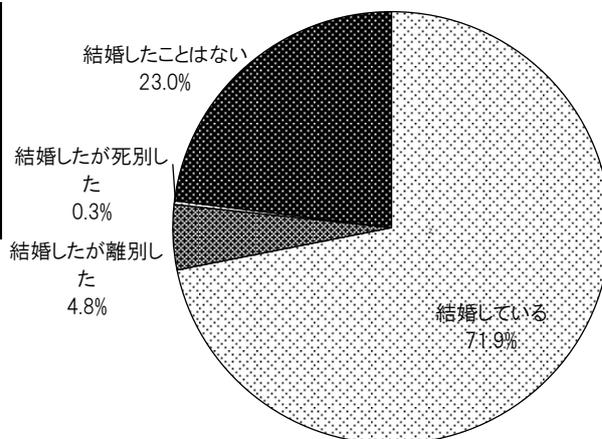


問4 現在結婚しているか

「結婚している」が 71.9%を占め、「結婚したことはない」が 23.0%となっている。

選択項目	回答数	構成比
結婚している	534	71.9%
結婚したが離別した	36	4.8%
結婚したが死別した	2	0.3%
結婚したことはない	171	23.0%
無回答	0	-
計	743	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

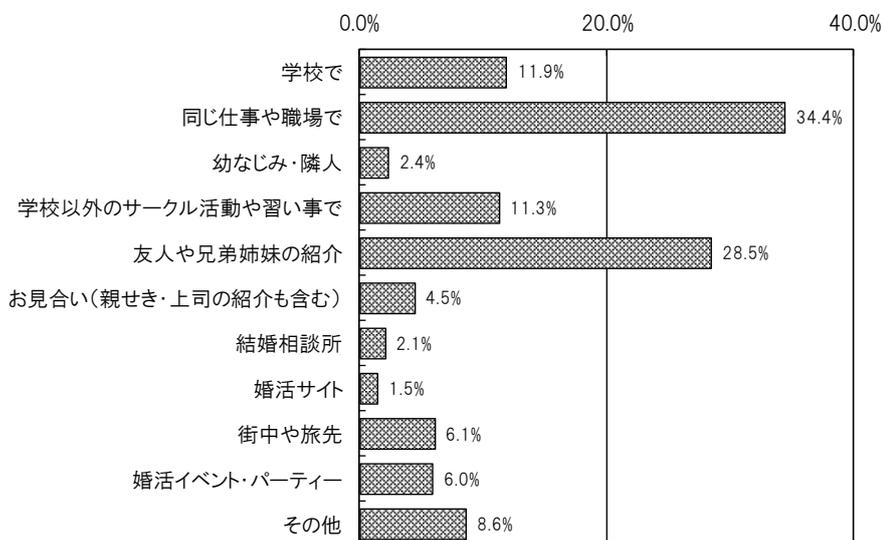


問5 結婚相手と知り合ったきっかけ・知り合うきっかけとして期待するもの（複数回答）

「同じ仕事や職場で」が 34.4%で最も多く、続いて「友人や兄弟姉妹の紹介」が 28.5%となっている。

選択項目	回答数	構成比
学校で	80	11.9%
同じ仕事や職場で	231	34.4%
幼なじみ・隣人	16	2.4%
学校以外のサークル活動や習い事で	76	11.3%
友人や兄弟姉妹の紹介	191	28.5%
お見合い(親せき・上司の紹介も含む)	30	4.5%
結婚相談所	14	2.1%
婚活サイト	10	1.5%
街中や旅先	41	6.1%
婚活イベント・パーティー	40	6.0%
その他	58	8.6%
無回答	72	-
サンプル計	743	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)

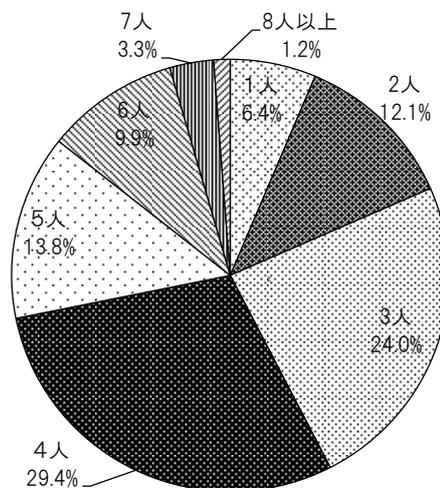


問6 一緒に暮らしている人は自分を含めて何人か

「4人」が29.4%で最も多く、続いて「3人」が24.0%となっている。

選択項目	回答数	構成比
1人	47	6.4%
2人	89	12.1%
3人	177	24.0%
4人	217	29.4%
5人	102	13.8%
6人	73	9.9%
7人	24	3.3%
8人以上	9	1.2%
無回答	5	-
計	743	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

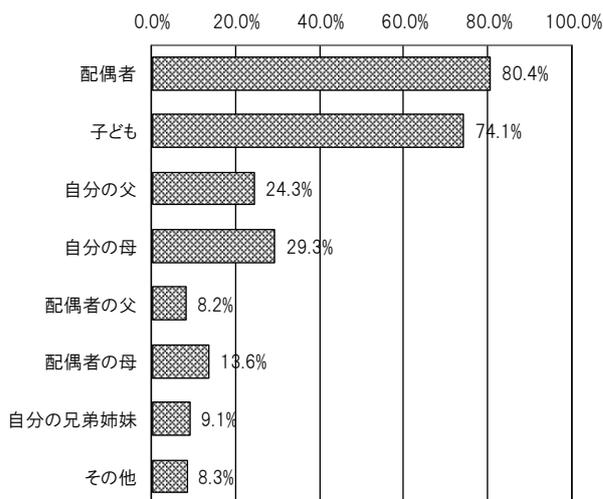


問7 一緒に暮らしている人は（複数回答）

「配偶者」が80.4%で最も多く、続いて「子ども」が74.1%となっている。

選択項目	回答数	構成比
配偶者	522	80.4%
子ども	481	74.1%
自分の父	158	24.3%
自分の母	190	29.3%
配偶者の父	53	8.2%
配偶者の母	88	13.6%
自分の兄弟姉妹	59	9.1%
その他	54	8.3%
無回答	47	-
サンプル計	696	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)

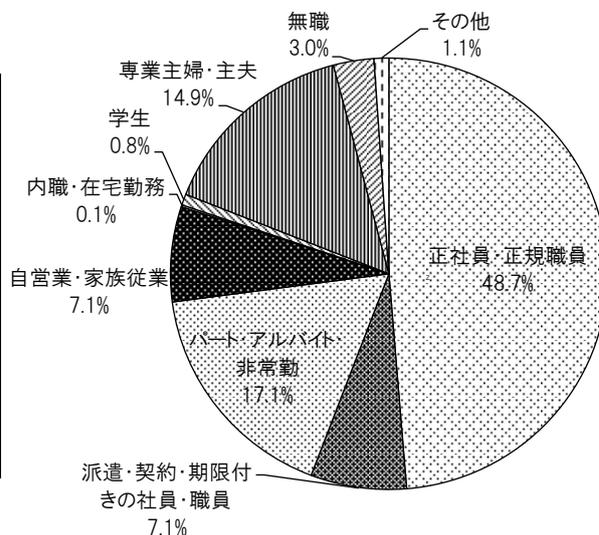


問8 あなたの職業は

「正社員・正規職員」が48.7%で最も多く、続いて「パート・アルバイト・非常勤」が17.1%となっている。

選択項目	回答数	構成比
正社員・正規職員	356	48.7%
派遣・契約・期限付きの社員・職員	52	7.1%
パート・アルバイト・非常勤	125	17.1%
自営業・家族従業	52	7.1%
内職・在宅勤務	1	0.1%
学生	6	0.8%
専業主婦・主夫	109	14.9%
無職	22	3.0%
その他	8	1.1%
無回答	12	-
計	743	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出



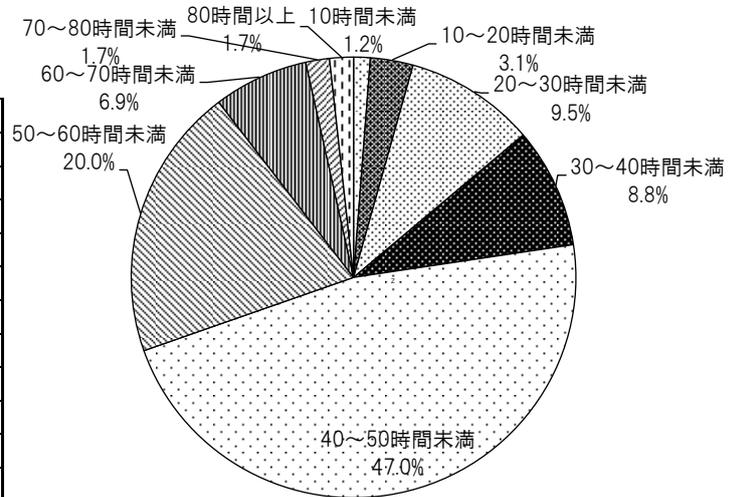
問9 あなたの1週間の労働時間と帰宅する時間

1週間の労働時間は「40～50 時間未満」が 47.0%で最も多く、続いて「50～60 時間未満」が 20.0%となっている。帰宅する時間は「17 時～19 時」が 40.5%と最も多く、続いて「19 時～21 時」が 30.5%となっている。

1 週間の労働時間

選択項目	回答数	構成比
10時間未満	7	1.2%
10～20時間未満	18	3.1%
20～30時間未満	55	9.5%
30～40時間未満	51	8.8%
40～50時間未満	272	47.0%
50～60時間未満	116	20.0%
60～70時間未満	40	6.9%
70～80時間未満	10	1.7%
80時間以上	10	1.7%
無回答	7	-
計	586	100.0%

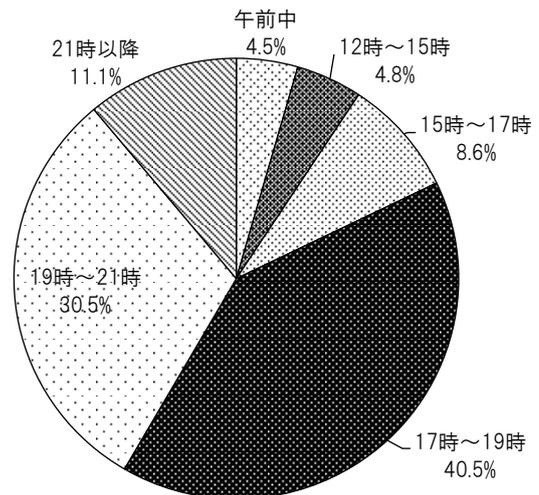
※構成比は有効回答者数を母数として算出



帰宅する時間

選択項目	回答数	構成比
午前中	25	4.5%
12時～15時	27	4.8%
15時～17時	48	8.6%
17時～19時	227	40.5%
19時～21時	171	30.5%
21時以降	62	11.1%
無回答	26	-
計	586	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

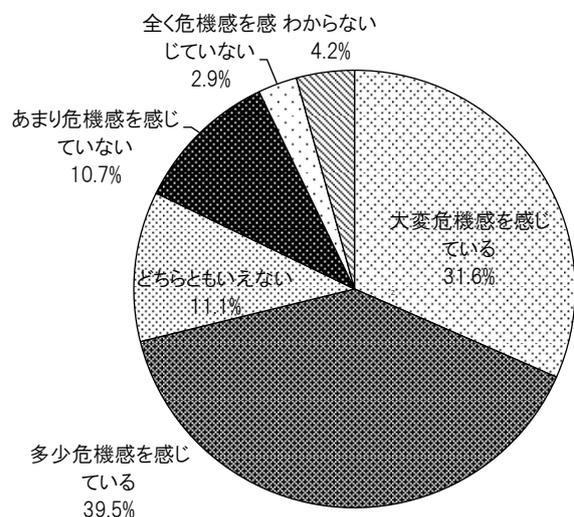


問10. 低い出生率が続くことへの危機感

「大変危機感を感じている」と「多少危機感を感じている」を合せて危機感を感じているという回答が 71.1%になっている。

選択項目	回答数	構成比
大変危機感を感じている	231	31.6%
多少危機感を感じている	289	39.5%
どちらともいえない	81	11.1%
あまり危機感を感じていない	78	10.7%
全く危機感を感じていない	21	2.9%
わからない	31	4.2%
無回答	12	-
計	743	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

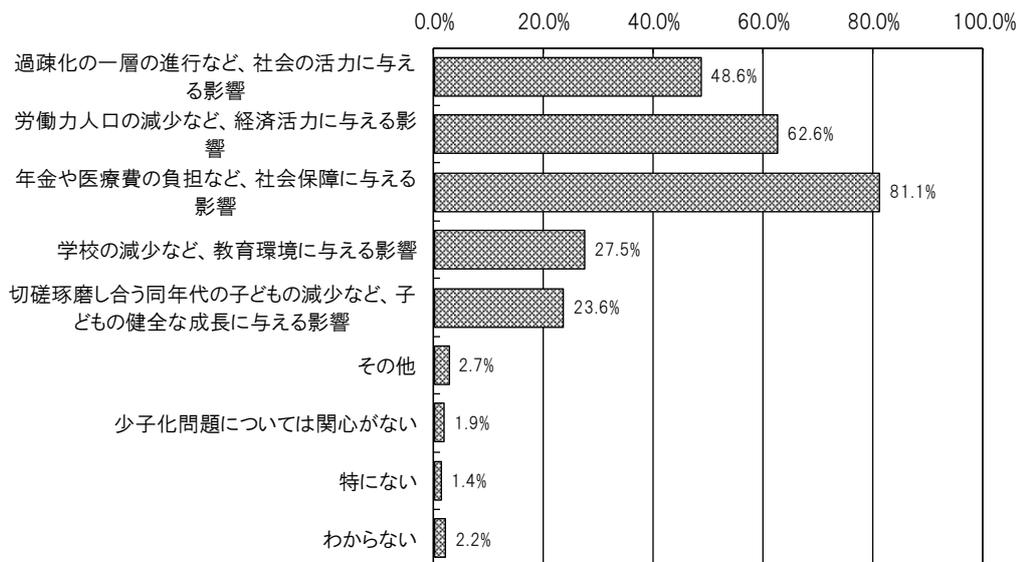


問 11 少子化が社会に与える影響で特に課題と思うことは何か（複数回答）

「年金や医療費の負担など、社会保障に与える影響」が 81.1%で最も多く、続いて「労働力人口の減少など、経済活力に与える影響」が 62.6%、「過疎化の一層の進行など、社会の活力に与える影響」が 48.6%となっている。

選択項目	回答数	構成比
過疎化の一層の進行など、社会の活力に与える影響	356	48.6%
労働力人口の減少など、経済活力に与える影響	458	62.6%
年金や医療費の負担など、社会保障に与える影響	594	81.1%
学校の減少など、教育環境に与える影響	201	27.5%
切磋琢磨し合う同年代の子どもの減少など、子どもの健全な成長に与える影響	173	23.6%
その他	20	2.7%
少子化問題については関心がない	14	1.9%
特にない	10	1.4%
わからない	16	2.2%
無回答	11	-
サンプル計	743	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出（複数回答）

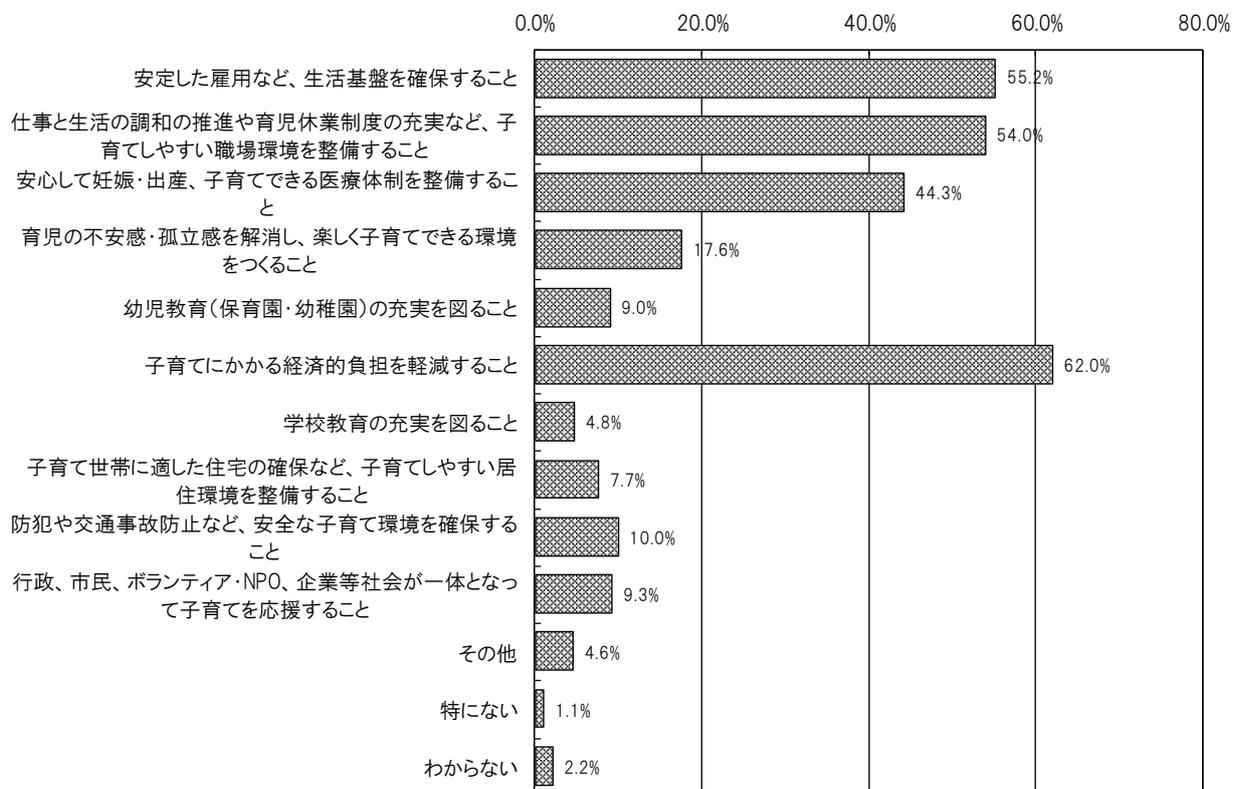


問 12 「安心して子どもを産み育てることができる社会」を実現するために重要なことは何か  
(複数回答/3つまで)

「子育てにかかる経済的負担を軽減すること」が 62.0%で最も多く、続いて「安定した雇用など、生活基盤を確保すること」が 55.2%、「仕事と生活の調和の推進や育児休業制度の充実など、子育てしやすい職場環境を整備すること」が 54.0%、「仕事と生活の調和の推進や育児休業制度の充実など、子育てしやすい職場環境を整備すること」が 54.0%となっている。

選択項目	回答数	構成比
安定した雇用など、生活基盤を確保すること	404	55.2%
仕事と生活の調和の推進や育児休業制度の充実など、子育てしやすい職場環境を整備すること	395	54.0%
安心して妊娠・出産、子育てできる医療体制を整備すること	324	44.3%
育児の不安感・孤立感を解消し、楽しく子育てできる環境をつくること	129	17.6%
幼児教育(保育園・幼稚園)の充実を図ること	66	9.0%
子育てにかかる経済的負担を軽減すること	454	62.0%
学校教育の充実を図ること	35	4.8%
子育て世帯に適した住宅の確保など、子育てしやすい居住環境を整備すること	56	7.7%
防犯や交通事故防止など、安全な子育て環境を確保すること	73	10.0%
行政、市民、ボランティア・NPO、企業等社会が一体となって子育てを応援すること	68	9.3%
その他	34	4.6%
特にない	8	1.1%
わからない	16	2.2%
無回答	11	-
サンプル計	743	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)

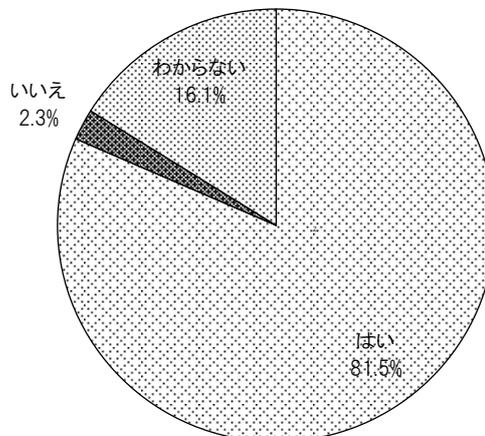


問 13 駒ヶ根市の二つのアルプスに象徴される雄大な自然環境は、子どもを産み育てるために良い環境だと思うか

「はい」が81.5%を占めている。

選択項目	回答数	構成比
はい	596	81.5%
いいえ	17	2.3%
わからない	118	16.1%
無回答	12	-
計	743	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

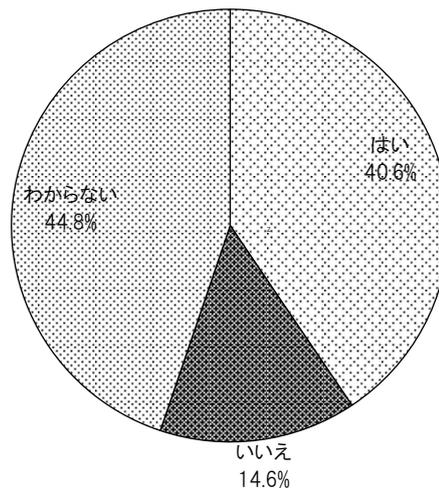


問 14 駒ヶ根市の教育環境は、子どもを産み育てるために良い環境だと思うか

「わからない」が44.8%で最も多く、続いて「はい」が40.6%となっている。

選択項目	回答数	構成比
はい	297	40.6%
いいえ	107	14.6%
わからない	328	44.8%
無回答	11	-
計	743	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出



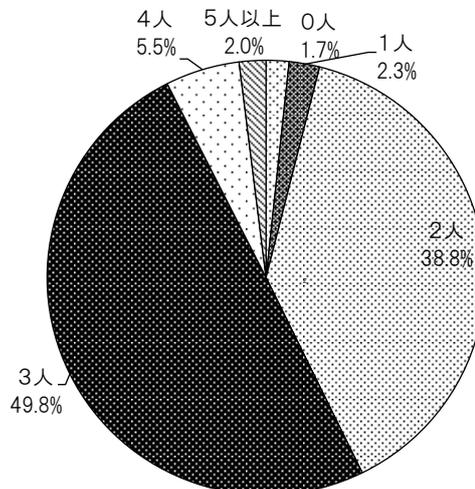
問 15-① あなたにとって理想の子ども的人数は何人が

「3人」が49.8%で最も多く、続いて「2人」が38.8%となっている。

選択項目	回答数	構成比
0人	12	1.7%
1人	16	2.3%
2人	276	38.8%
3人	354	49.8%
4人	39	5.5%
5人以上	14	2.0%
無回答	32	-
計	743	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

平均	2.6
最小	0.0
最大	11.0



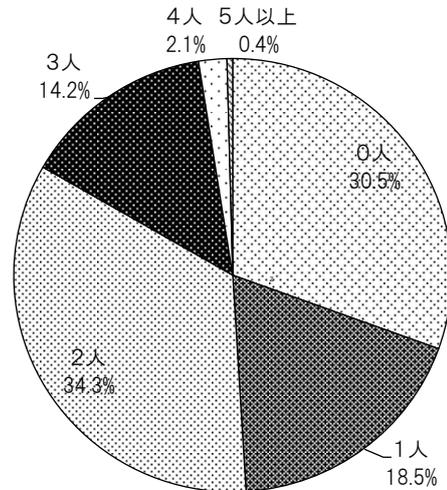
問 15-② あなたは何人の子どもをお持ちか

「2人」が34.3%で最も多く、続いて子どものいない「0人」が30.5%となっている。

選択項目	回答数	構成比
0人	219	30.5%
1人	133	18.5%
2人	246	34.3%
3人	102	14.2%
4人	15	2.1%
5人以上	3	0.4%
無回答	25	-
計	743	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

平均	1.4
最小	0.0
最大	5.0



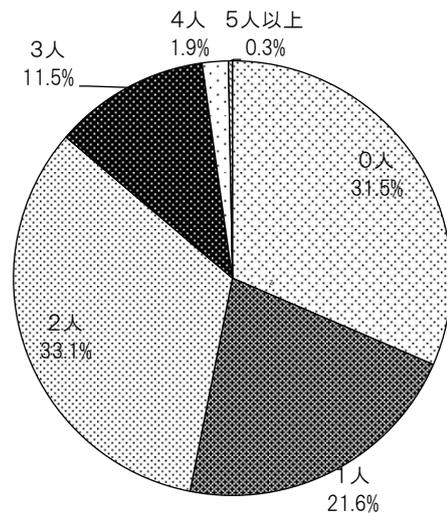
問 15-③ あなたの子どものうち同居している人数は何人が

「2人」が33.1%で最も多く、続いて同居していないの「0人」が31.5%となっている。

選択項目	回答数	構成比
0人	213	31.5%
1人	146	21.6%
2人	224	33.1%
3人	78	11.5%
4人	13	1.9%
5人以上	2	0.3%
無回答	67	-
計	743	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

平均	1.3
最小	0.0
最大	5.0



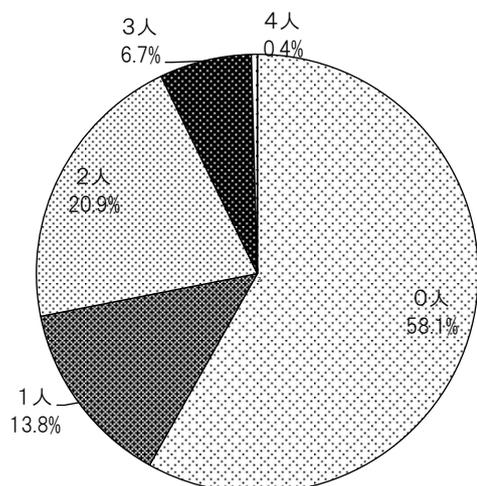
問 15-④ あなたはこれから何人の子どもを持ちたいか

「0人」が58.1%で最も多く、続いて「2人」が20.9%となっている。

選択項目	回答数	構成比
0人	405	58.1%
1人	96	13.8%
2人	146	20.9%
3人	47	6.7%
4人	3	0.4%
5人以上	0	0.0%
無回答	46	-
計	743	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

平均	0.8
最小	0.0
最大	4.0

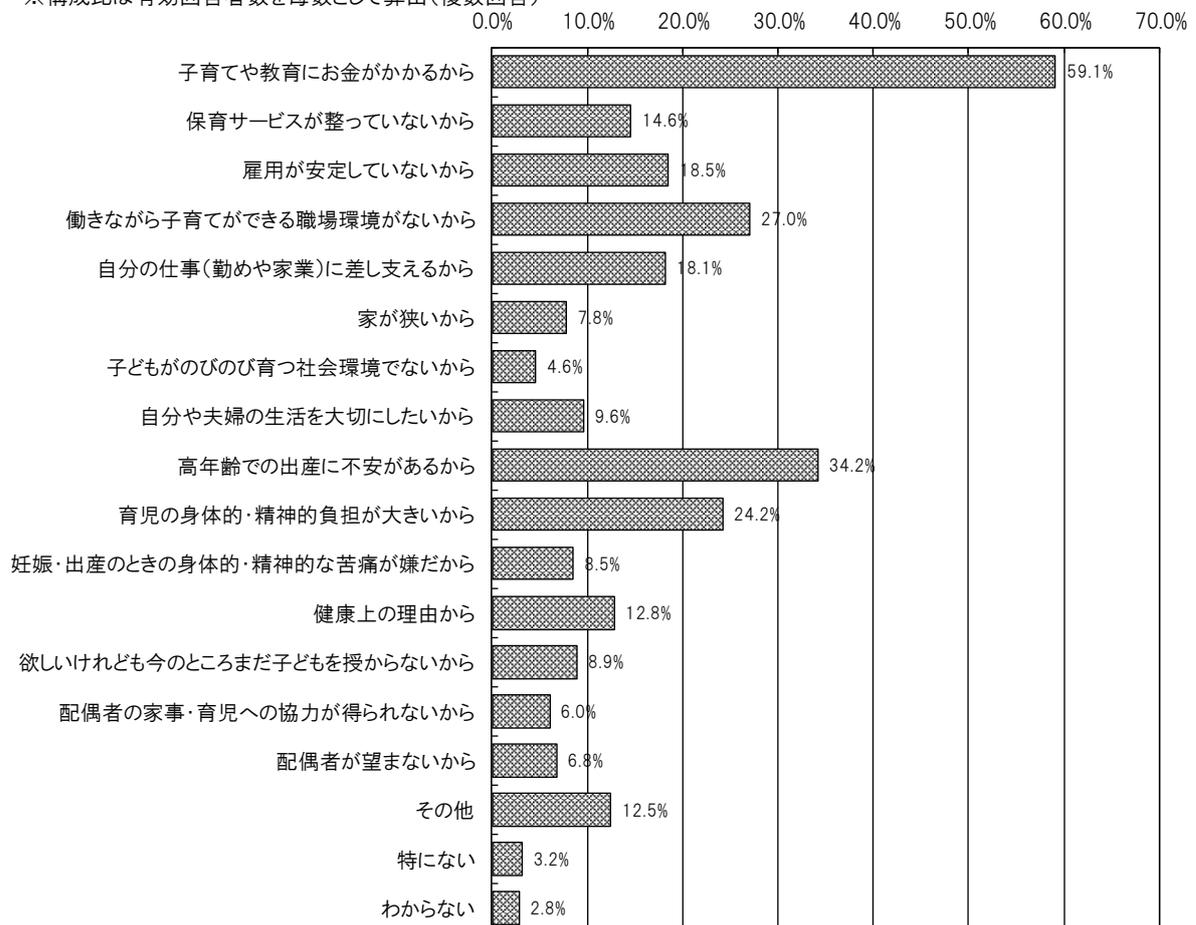


問 16 子どもを持つつもりのない方や、問 15 で理想の子どもの人数より持ちたい子どもの人数が少ない方。子どもを持つつもりのない理由や理想の人数より少ない理由は（複数回答）

「子育てや教育にお金がかかるから」が 59.1%で最も多く、続いて「高年齢での出産に不安があるから」が 34.2%となっている。

選択項目	回答数	構成比
子育てや教育にお金がかかるから	166	59.1%
保育サービスが整っていないから	41	14.6%
雇用が安定していないから	52	18.5%
働きながら子育てができる職場環境がないから	76	27.0%
自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	51	18.1%
家が狭いから	22	7.8%
子どもがのびのび育つ社会環境でないから	13	4.6%
自分や夫婦の生活を大切にしたいから	27	9.6%
高年齢での出産に不安があるから	96	34.2%
育児の身体的・精神的負担が大きいから	68	24.2%
妊娠・出産のときの身体的・精神的な苦痛が嫌だから	24	8.5%
健康上の理由から	36	12.8%
欲しいけれども今のところまだ子どもを授からないから	25	8.9%
配偶者の家事・育児への協力が得られないから	17	6.0%
配偶者が望まないから	19	6.8%
その他	35	12.5%
特にない	9	3.2%
わからない	8	2.8%
無回答	13	-
サンプル計	294	-

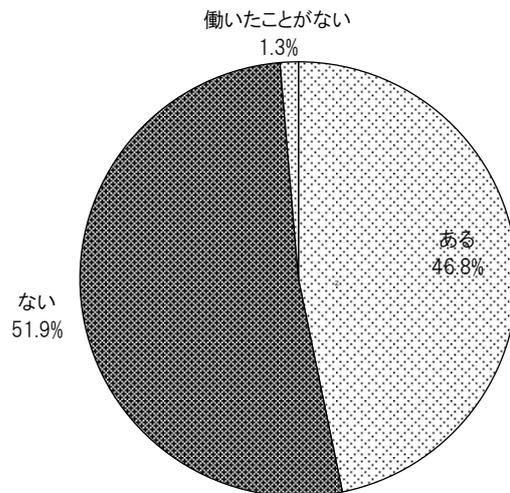
※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)



問 17 これまでに結婚や出産を機に仕事を辞めたことがあるか  
「ない」が51.9%で、「ある」が46.8%となっている。

選択項目	回答数	構成比
ある	312	46.8%
ない	346	51.9%
働いたことがない	9	1.3%
無回答	76	-
計	743	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

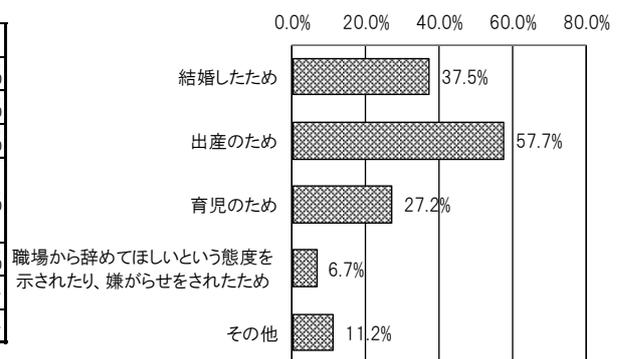


問 18 問 17 で「結婚や出産を機に仕事を辞めたことがある」と答えた方。結婚や出産を機に仕事を辞めたことの原因は（複数回答）

「出産のため」が57.7%で最も多く、続いて「結婚したため」が37.5%となっている。

選択項目	回答数	構成比
結婚したため	117	37.5%
出産のため	180	57.7%
育児のため	85	27.2%
職場から辞めてほしいという態度を示されたり、嫌がらせをされたため	21	6.7%
その他	35	11.2%
無回答	0	-
サンプル計	312	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)

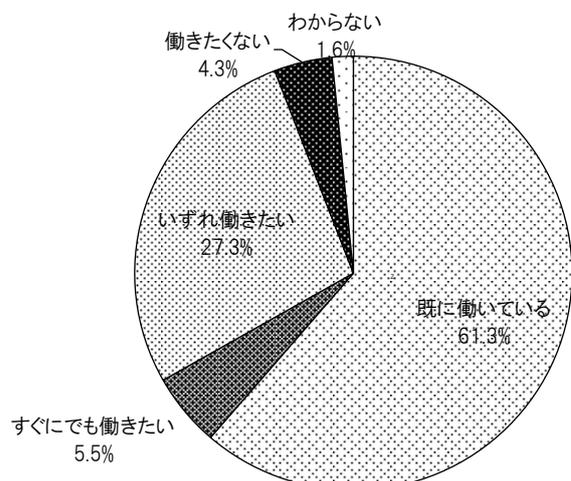


問 19 問 17 で「結婚や出産を機に仕事を辞めたことがある」と答えた方。仕事を辞めて、現在、再び働きたいと思うか

「既に働いている」が61.3%で最も多く、続いて「いずれ働きたい」が27.3%となっている。

選択項目	回答数	構成比
既に働いている	157	61.3%
すぐにも働きたい	14	5.5%
いずれ働きたい	70	27.3%
働きたくない	11	4.3%
わからない	4	1.6%
無回答	56	-
計	312	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

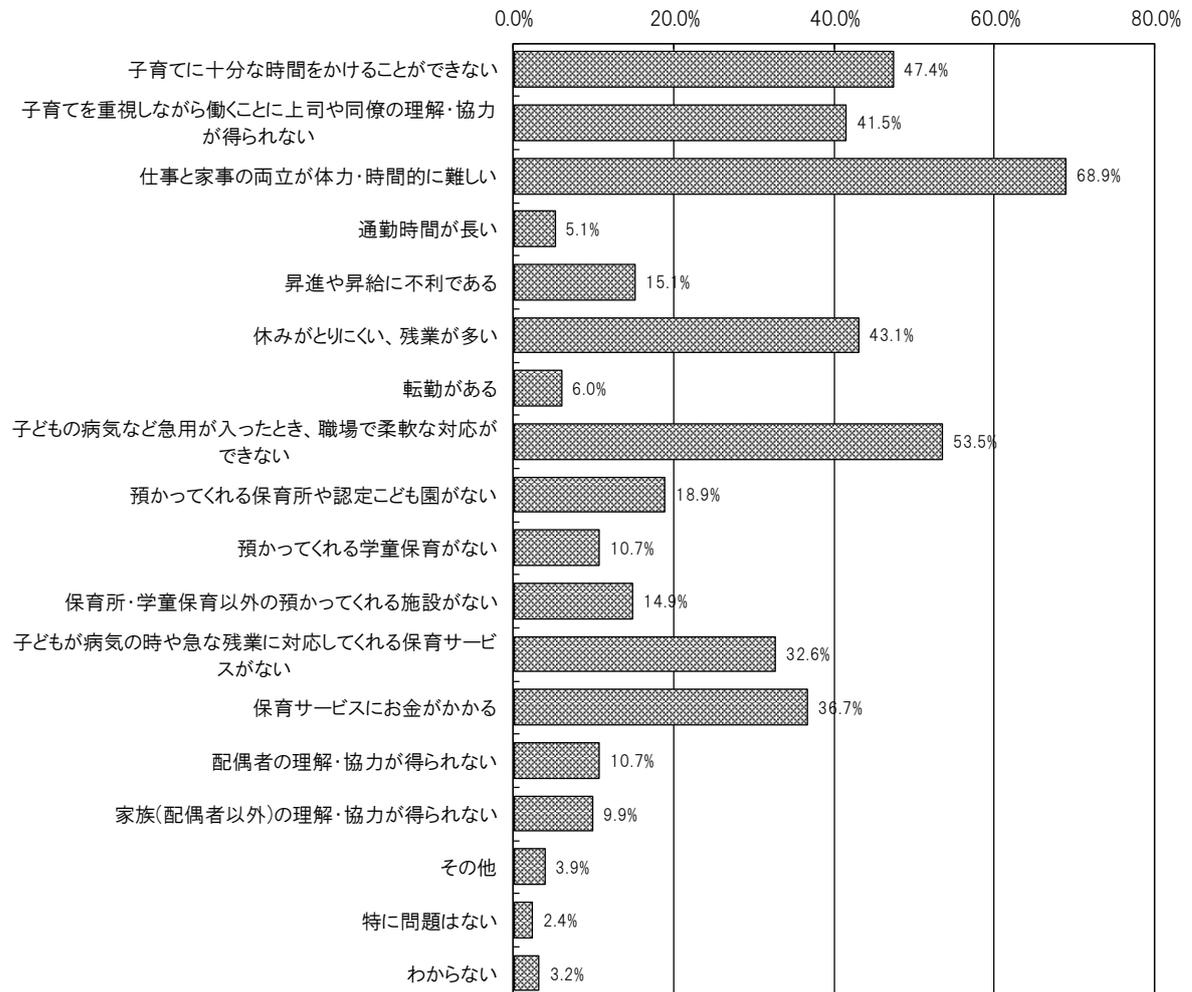


問 20 女性が子育てをしながら働く上で問題となっていることは（複数回答）

「仕事と家事の両立が体力・時間的に難しい」が 68.9%で最も多く、続いて「子どもの病気など急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない」が 53.5%となっている。

選択項目	回答数	構成比
子育てに十分な時間をかけることができない	341	47.4%
子育てを重視しながら働くことに上司や同僚の理解・協力が得られない	299	41.5%
仕事と家事の両立が体力・時間的に難しい	496	68.9%
通勤時間が長い	37	5.1%
昇進や昇給に不利である	109	15.1%
休みがとりにくい、残業が多い	310	43.1%
転勤がある	43	6.0%
子どもの病気など急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない	385	53.5%
預かってくれる保育所や認定こども園がない	136	18.9%
預かってくれる学童保育がない	77	10.7%
保育所・学童保育以外の預かってくれる施設がない	107	14.9%
子どもが病気の時や急な残業に対応してくれる保育サービスがない	235	32.6%
保育サービスにお金がかかる	264	36.7%
配偶者の理解・協力が得られない	77	10.7%
家族(配偶者以外)の理解・協力が得られない	71	9.9%
その他	28	3.9%
特に問題はない	17	2.4%
わからない	23	3.2%
無回答	23	-
サンプル計	743	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)



### 3 子どもをお持ちの方

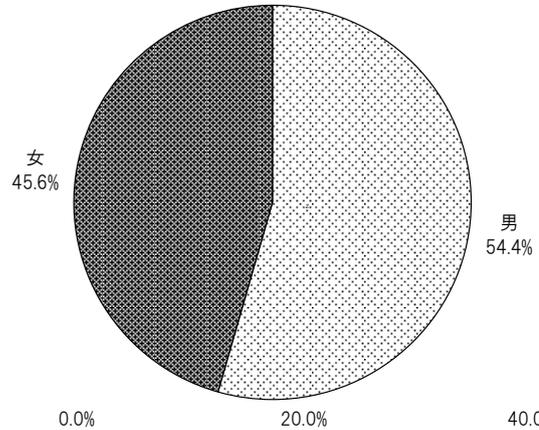
#### 問 21 あなたの子どもについて

第1子は男が54.4%でやや多く、年齢は「未就学」が36.8%で最も多い。第2子は女が56.7%でやや多く、年齢は「未就学」が41.6%で最も多い。

##### 第1子

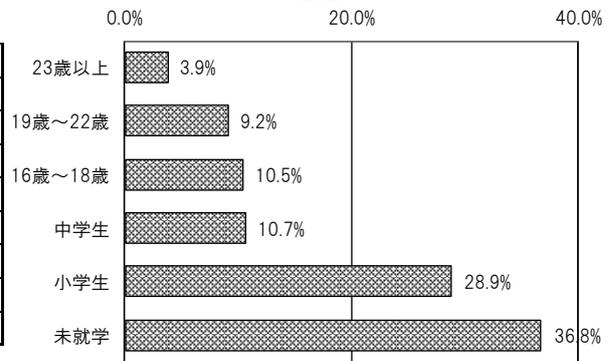
選択項目	回答数	構成比
男	246	54.4%
女	206	45.6%
無回答	47	-
計	499	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出



選択項目	回答数	構成比
23歳以上	18	3.9%
19歳～22歳	43	9.2%
16歳～18歳	49	10.5%
中学生	50	10.7%
小学生	135	28.9%
未就学	172	36.8%
無回答	32	-
計	499	100.0%

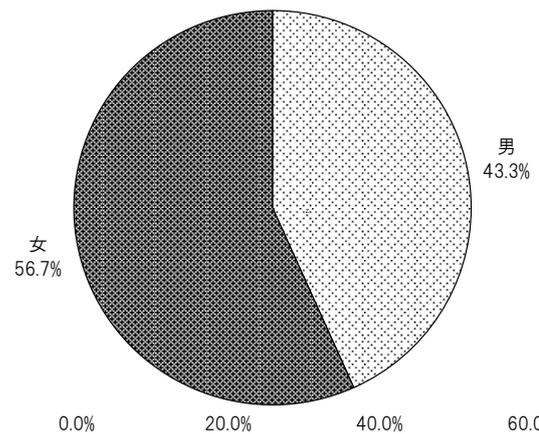
※構成比は有効回答者数を母数として算出



##### 第2子

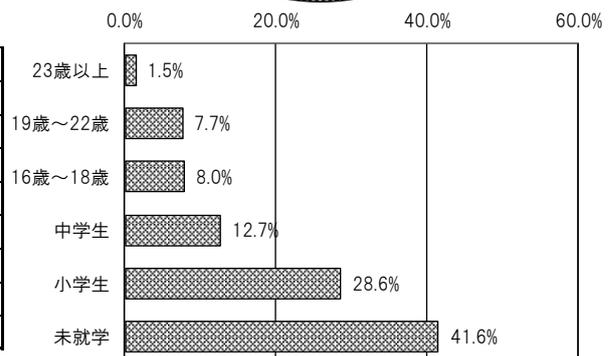
選択項目	回答数	構成比
男	142	43.3%
女	186	56.7%
無回答	171	-
計	499	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出



選択項目	回答数	構成比
23歳以上	5	1.5%
19歳～22歳	26	7.7%
16歳～18歳	27	8.0%
中学生	43	12.7%
小学生	97	28.6%
未就学	141	41.6%
無回答	160	-
計	499	100.0%

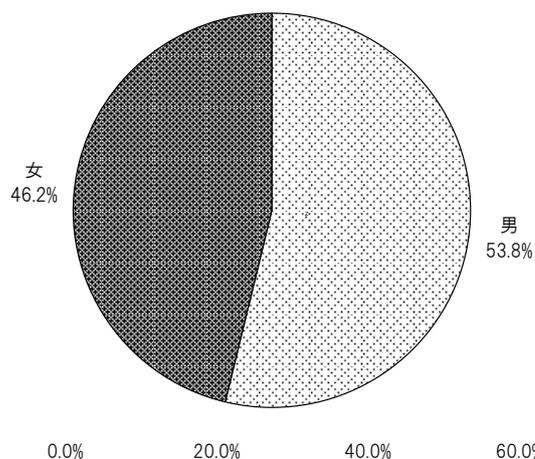
※構成比は有効回答者数を母数として算出



### 第3子

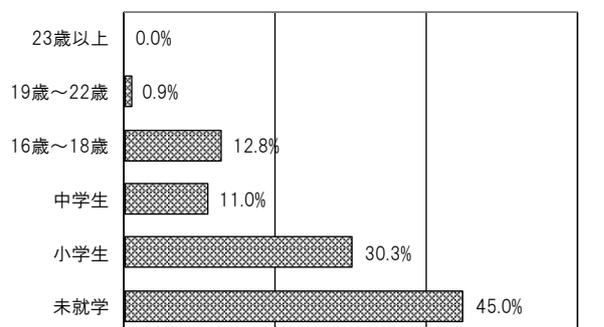
選択項目	回答数	構成比
男	57	53.8%
女	49	46.2%
無回答	393	-
計	499	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出



選択項目	回答数	構成比
23歳以上	0	0.0%
19歳～22歳	1	0.9%
16歳～18歳	14	12.8%
中学生	12	11.0%
小学生	33	30.3%
未就学	49	45.0%
無回答	390	-
計	499	100.0%

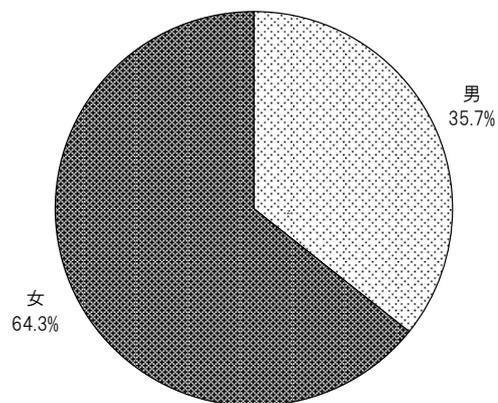
※構成比は有効回答者数を母数として算出



### 第4子

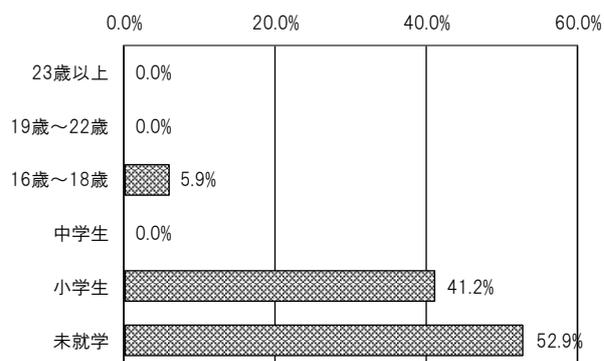
選択項目	回答数	構成比
男	5	35.7%
女	9	64.3%
無回答	485	-
計	499	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出



選択項目	回答数	構成比
23歳以上	0	0.0%
19歳～22歳	0	0.0%
16歳～18歳	1	5.9%
中学生	0	0.0%
小学生	7	41.2%
未就学	9	52.9%
無回答	482	-
計	499	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

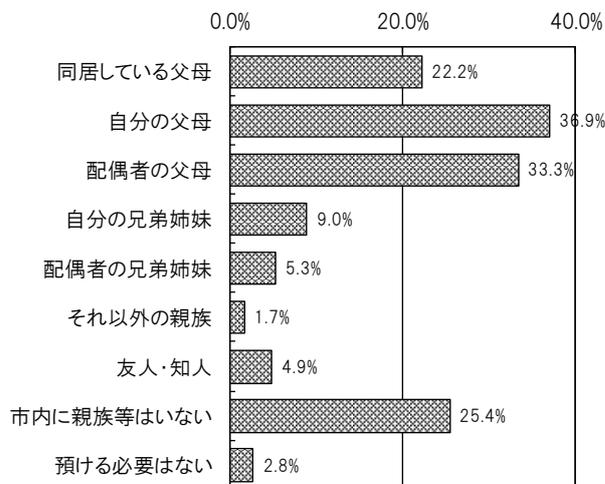


問 22 子どもを預けることのできる親族等が市内に住んでいるか（複数回答）

「自分の父母」が 36.9%で最も多く、続いて「配偶者の父母」が 33.3%となっている。

選択項目	回答数	構成比
同居している父母	104	22.2%
自分の父母	173	36.9%
配偶者の父母	156	33.3%
自分の兄弟姉妹	42	9.0%
配偶者の兄弟姉妹	25	5.3%
それ以外の親族	8	1.7%
友人・知人	23	4.9%
市内に親族等はいない	119	25.4%
預ける必要はない	13	2.8%
無回答	30	-
サンプル計	499	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)



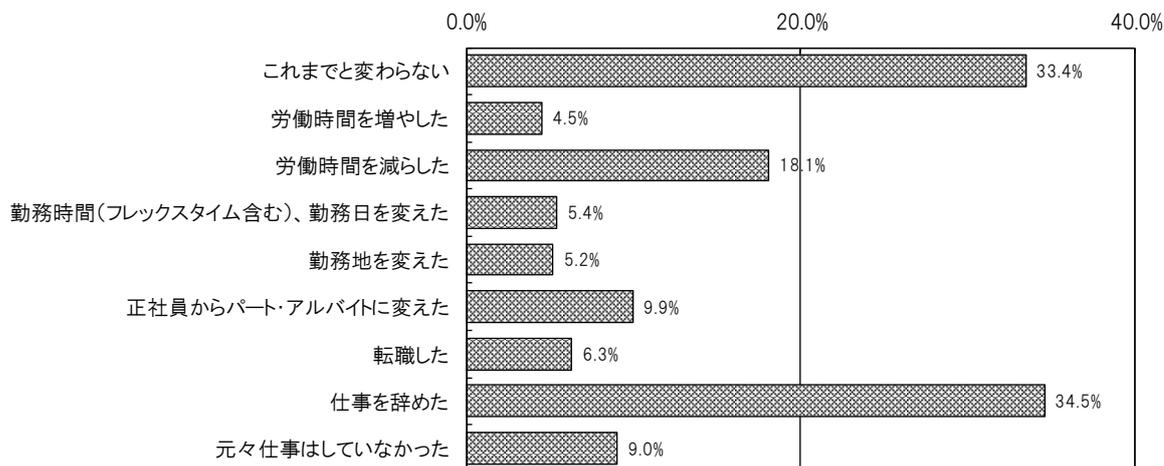
問 23 一人目の子どもが生まれてから、あなたや配偶者の働き方や日ごろの自分の時間の過ごし方が変わったか（複数回答）

あなたの働き方は、「仕事を辞めた」が 34.5%で最も多く、続いて「これまでと変わらない」が 33.4%となっている。配偶者の働き方は、「これまでと変わらない」が 58.3%で最も多く、続いて「仕事を辞めた」が 16.4%となっている。

あなたの働き方

選択項目	回答数	構成比
これまでと変わらない	148	33.4%
労働時間を増やした	20	4.5%
労働時間を減らした	80	18.1%
勤務時間(フレックスタイム含む)、勤務日を変えた	24	5.4%
勤務地を変えた	23	5.2%
正社員からパート・アルバイトに変えた	44	9.9%
転職した	28	6.3%
仕事を辞めた	153	34.5%
元々仕事はしていなかった	40	9.0%
無回答	56	-
サンプル計	499	-

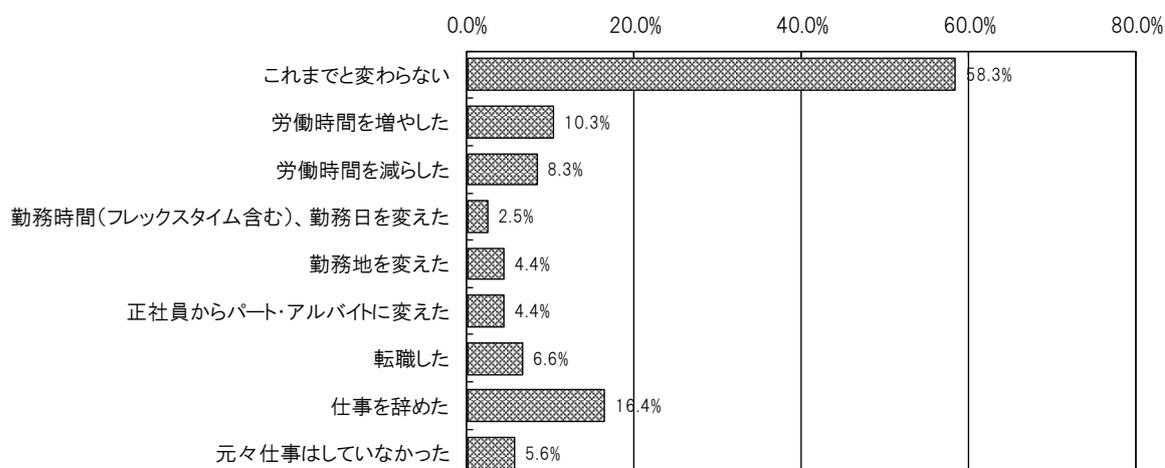
※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)



## 配偶者の働き方

選択項目	回答数	構成比
これまでと変わらない	238	58.3%
労働時間を増やした	42	10.3%
労働時間を減らした	34	8.3%
勤務時間(フレックスタイム含む)、勤務日を変えた	10	2.5%
勤務地を変えた	18	4.4%
正社員からパート・アルバイトに変えた	18	4.4%
転職した	27	6.6%
仕事を辞めた	67	16.4%
元々仕事はしていなかった	23	5.6%
無回答	91	-
サンプル計	499	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)

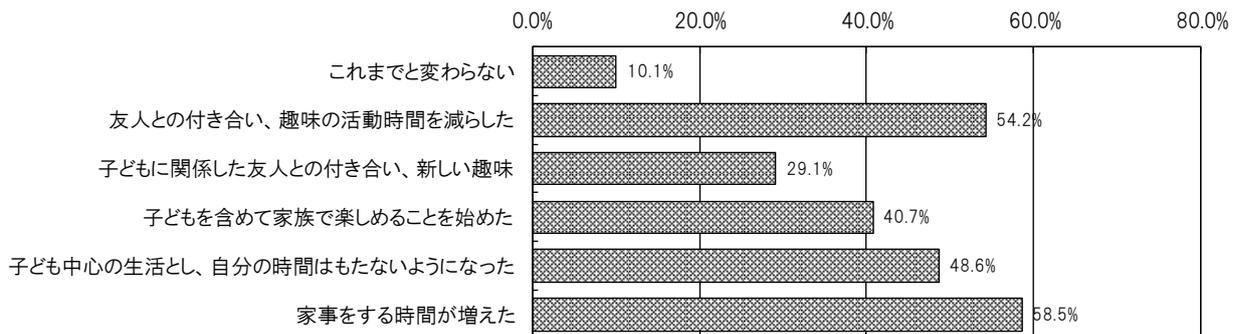


あなたの日ごろの自分の時間の過ごし方は、「家事をする時間が増えた」が 58.5%で最も多く、続いて「友人との付き合い、趣味の活動時間を減らした」が 54.2%となっている。配偶者の日ごろの自分の時間の過ごし方は、「子どもを含めて家族で楽しむことを始めた」が 43.8%で最も多く、続いて「友人との付き合い、趣味の活動時間を減らした」が 36.8%となっている。

## あなたの日ごろの自分の時間の過ごし方

選択項目	回答数	構成比
これまでと変わらない	47	10.1%
友人との付き合い、趣味の活動時間を減らした	253	54.2%
子どもに関係した友人との付き合い、新しい趣味	136	29.1%
子どもを含めて家族で楽しむことを始めた	190	40.7%
子ども中心の生活とし、自分の時間はもたないようになった	227	48.6%
家事をする時間が増えた	273	58.5%
無回答	32	-
サンプル計	499	-

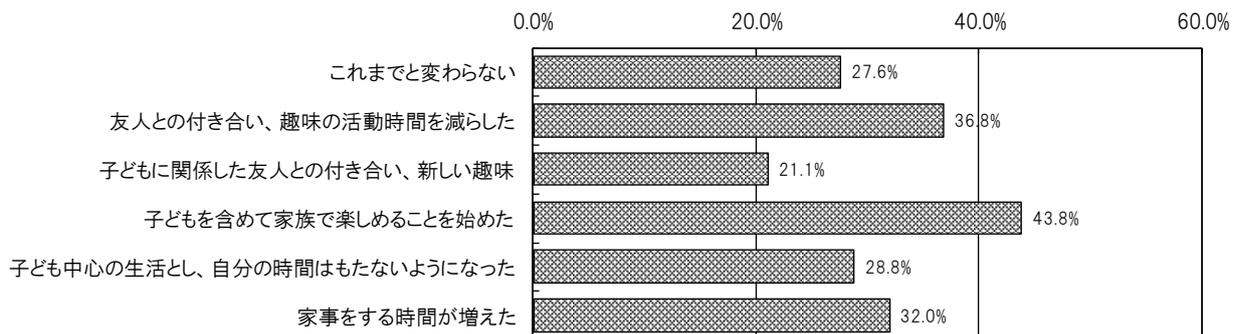
※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)



### 配偶者の自分の時間の過ごし方

選択項目	回答数	構成比
これまでと変わらない	114	27.6%
友人との付き合い、趣味の活動時間を減らした	152	36.8%
子どもに関係した友人との付き合い、新しい趣味	87	21.1%
子どもを含めて家族で楽しめることを始めた	181	43.8%
子ども中心の生活とし、自分の時間はもたないようになった	119	28.8%
家事をする時間が増えた	132	32.0%
無回答	86	-
サンプル計	499	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)



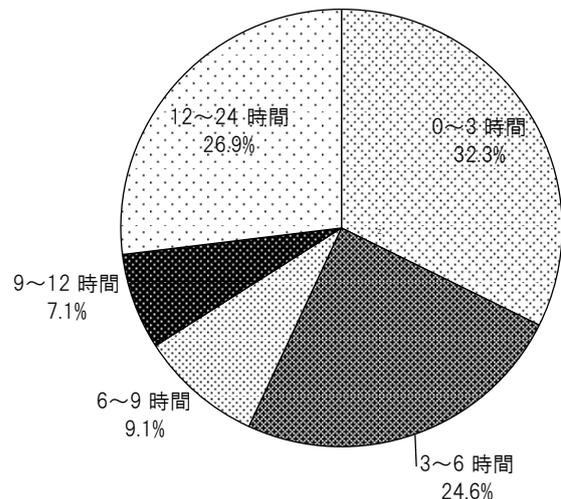
### 問 24 あなたや配偶者が子どもと過ごす時間は

あなたの平日の子どもと過ごす時間は、「0～3 時間」が 32.3%で最も多く、続いて「12～24 時間」が 26.9%となっている。配偶者の平日の子どもと過ごす時間は、「0～3 時間」が 40.9%で最も多く、続いて「3～6 時間」が 27.8%となっている。

#### あなたの平日

選択項目	回答数	構成比
0～3 時間	150	32.3%
3～6 時間	114	24.6%
6～9 時間	42	9.1%
9～12 時間	33	7.1%
12～24 時間	125	26.9%
無回答	35	-
計	499	100.0%

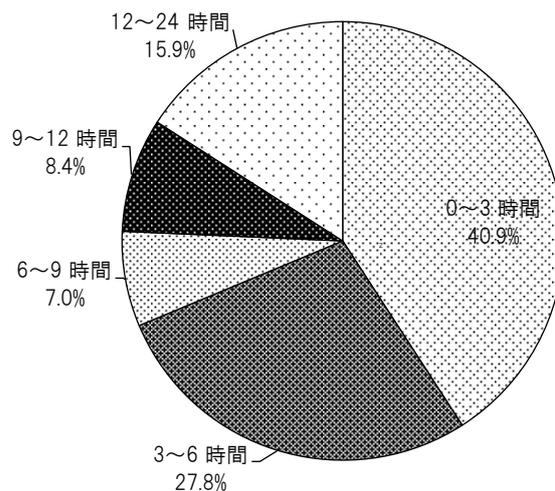
※構成比は有効回答者数を母数として算出



### 配偶者の平日

選択項目	回答数	構成比
0～3 時間	175	40.9%
3～6 時間	119	27.8%
6～9 時間	30	7.0%
9～12 時間	36	8.4%
12～24 時間	68	15.9%
無回答	71	-
計	499	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

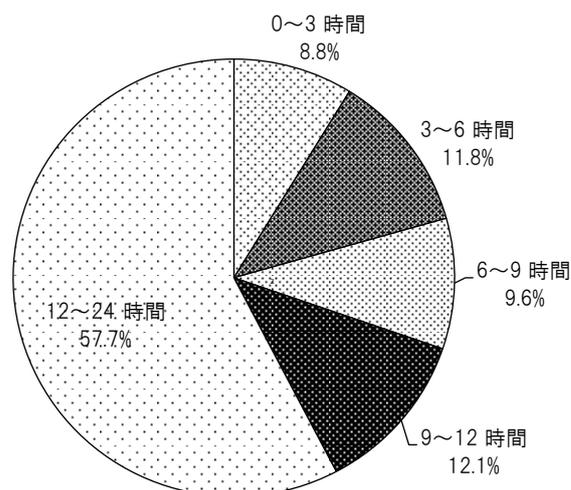


あなたの休日の子どもと過ごす時間は、「12～24 時間」が 57.5%で最も多い。配偶者の休日の子どもと過ごす時間は、「12～24 時間」が 47.9%で最も多い。

### あなたの休日

選択項目	回答数	構成比
0～3 時間	40	8.8%
3～6 時間	54	11.8%
6～9 時間	44	9.6%
9～12 時間	55	12.1%
12～24 時間	263	57.7%
無回答	43	-
計	499	100.0%

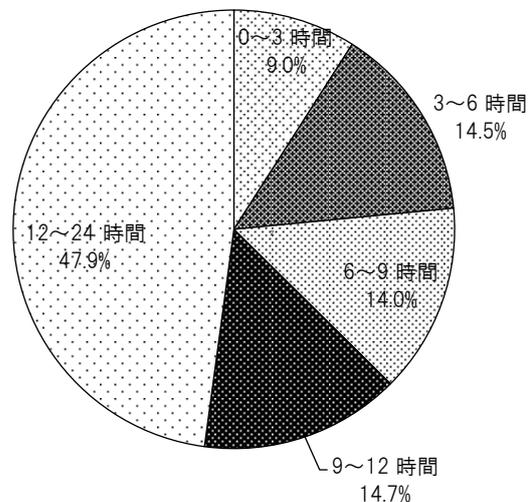
※構成比は有効回答者数を母数として算出



### 配偶者の休日

選択項目	回答数	構成比
0～3 時間	38	9.0%
3～6 時間	61	14.5%
6～9 時間	59	14.0%
9～12 時間	62	14.7%
12～24 時間	202	47.9%
無回答	77	-
計	499	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

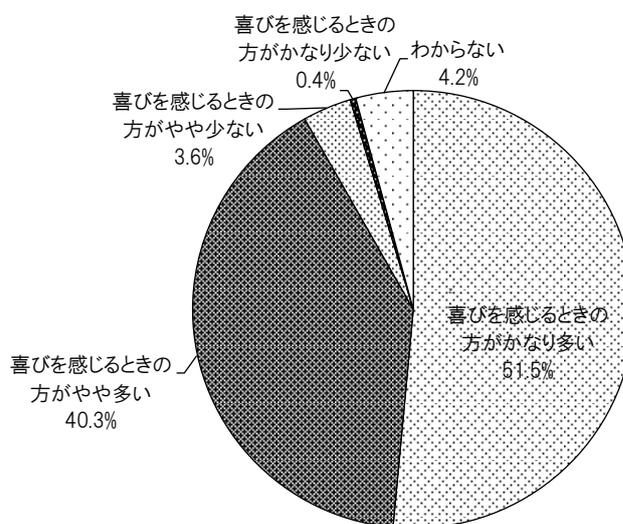


問 25 子育てに喜びを感じるか

「喜びを感じる時の方がかなり多い」が 51.5%で最も多く、続いて「喜びを感じる時の方がやや多い」が 40.3%となっている。

選択項目	回答数	構成比
喜びを感じる時の方がかなり多い	245	51.5%
喜びを感じる時の方がやや多い	192	40.3%
喜びを感じる時の方がやや少ない	17	3.6%
喜びを感じる時の方がかなり少ない	2	0.4%
わからない	20	4.2%
無回答	23	-
計	499	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

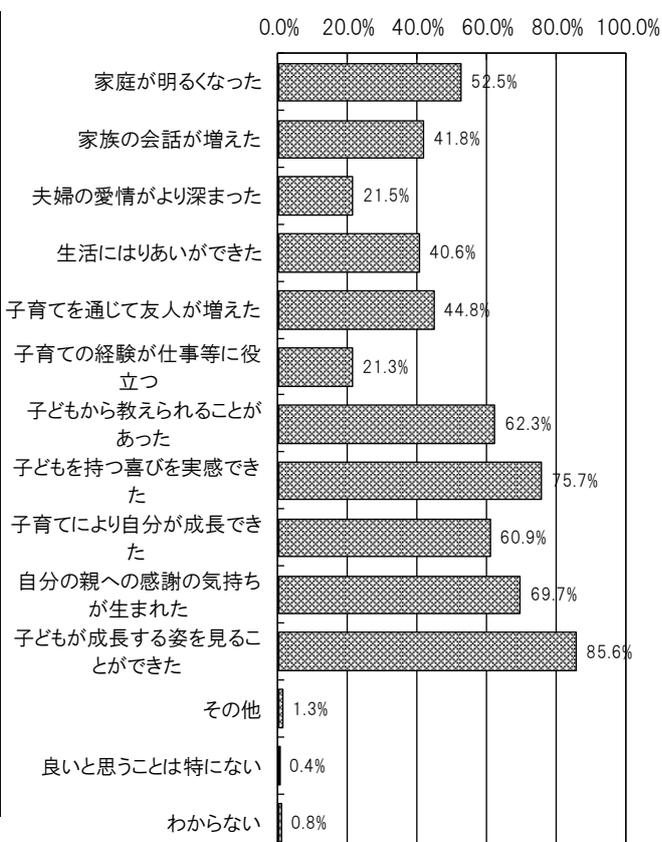


問 26 自分にとって子育てをして良かったと思うことは何か（複数回答）

「子どもが成長する姿を見ることができた」が 85.6%で最も多く、続いて「子どもを持つ喜びを実感できた」が 75.7%となっている。

選択項目	回答数	構成比
家庭が明るくなった	251	52.5%
家族の会話が増えた	200	41.8%
夫婦の愛情がより深まった	103	21.5%
生活にはりあいができた	194	40.6%
子育てを通じて友人が増えた	214	44.8%
子育ての経験が仕事等に役立つ	102	21.3%
子どもから教えられることがあった	298	62.3%
子どもを持つ喜びを実感できた	362	75.7%
子育てにより自分が成長できた	291	60.9%
自分の親への感謝の気持ち生まれた	333	69.7%
子どもが成長する姿を見ることができた	409	85.6%
その他	6	1.3%
良いと思うことは特にな	2	0.4%
わからない	4	0.8%
無回答	21	-
サンプル計	499	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)

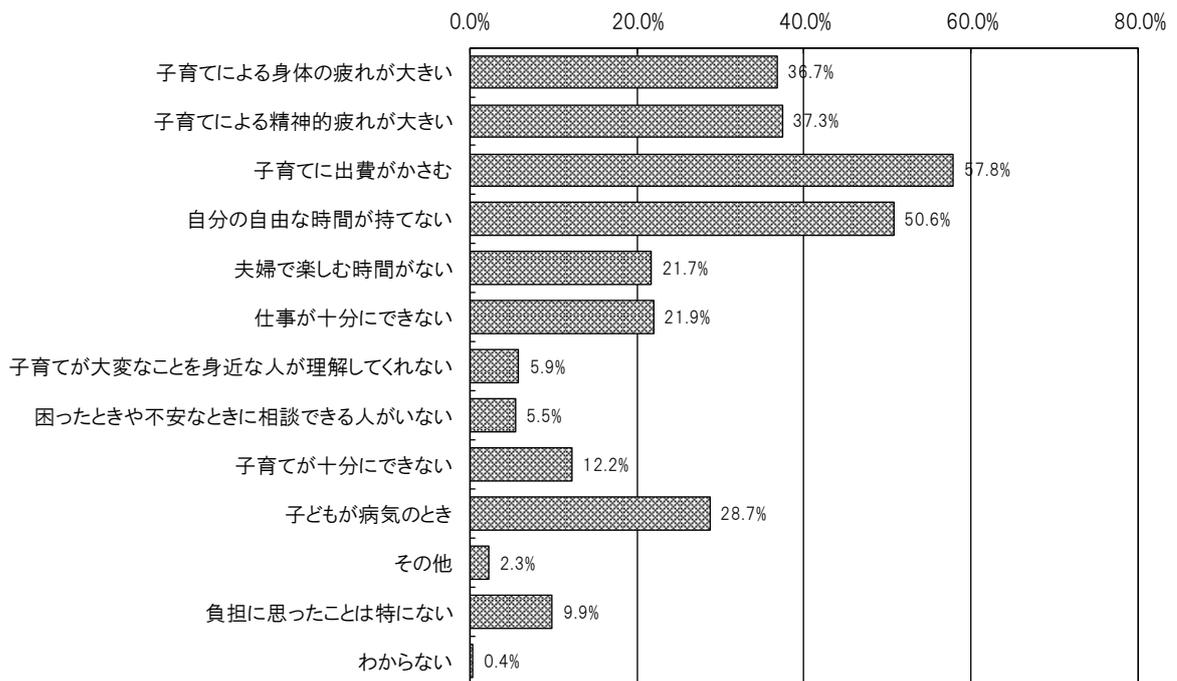


問 27 自分にとって子育てをして負担に思ったことは（複数回答）

「子育てに出費がかさむ」が 57.8%で最も多く、続いて「自分の自由な時間が持てない」が 50.6%となっている。

選択項目	回答数	構成比
子育てによる身体の疲れが大きい	174	36.7%
子育てによる精神的疲れが大きい	177	37.3%
子育てに出費がかさむ	274	57.8%
自分の自由な時間が持てない	240	50.6%
夫婦で楽しむ時間がない	103	21.7%
仕事が十分にできない	104	21.9%
子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	28	5.9%
困ったときや不安なときに相談できる人がいない	26	5.5%
子育てが十分にできない	58	12.2%
子どもが病気の時	136	28.7%
その他	11	2.3%
負担に思ったことは特にな	47	9.9%
わからない	2	0.4%
無回答	25	-
サンプル計	499	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)

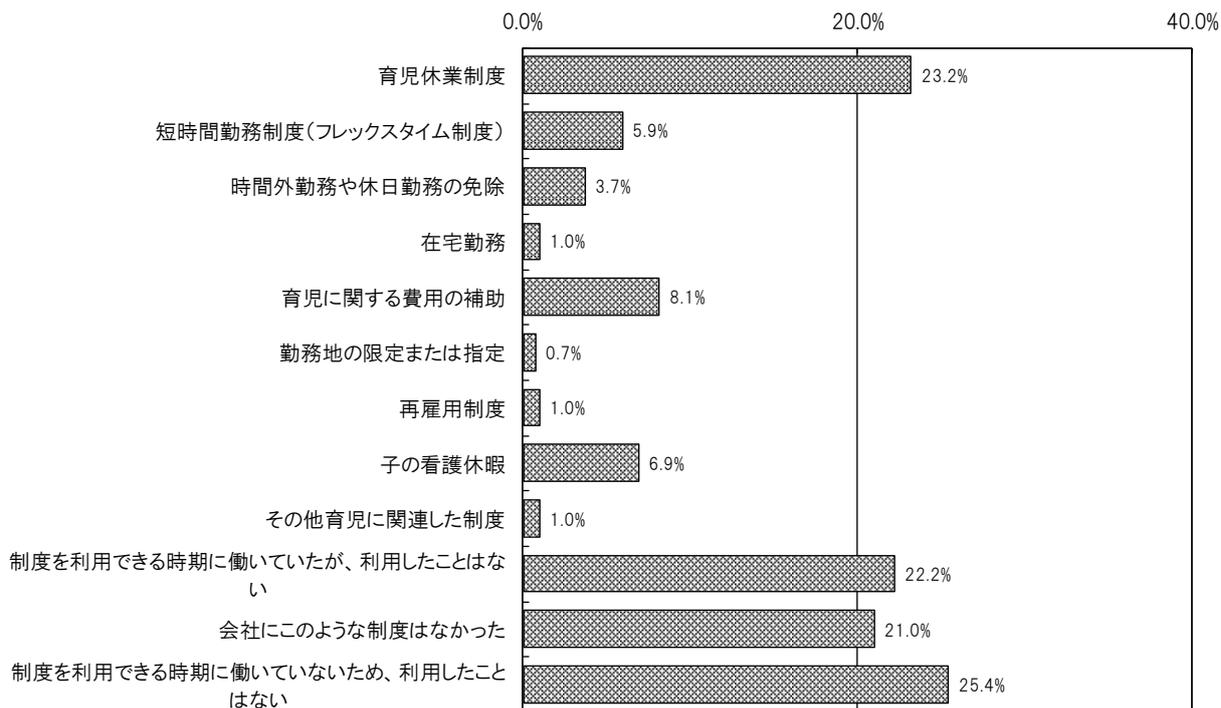


問 28 労働関連制度を利用したことがあるか（複数回答）

「制度を利用できる時期に働いていないため、利用したことはない」が 25.4%で最も多く、続いて「育児休業制度」が 23.2%となっている。

選択項目	回答数	構成比
育児休業制度	94	23.2%
短時間勤務制度(フレックスタイム制度)	24	5.9%
時間外勤務や休日勤務の免除	15	3.7%
在宅勤務	4	1.0%
育児に関する費用の補助	33	8.1%
勤務地の限定または指定	3	0.7%
再雇用制度	4	1.0%
子の看護休暇	28	6.9%
その他育児に関連した制度	4	1.0%
制度を利用できる時期に働いていたが、利用したことはない	90	22.2%
会社にこのような制度はなかった	85	21.0%
制度を利用できる時期に働いていないため、利用したことはない	103	25.4%
無回答	94	-
サンプル計	499	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)

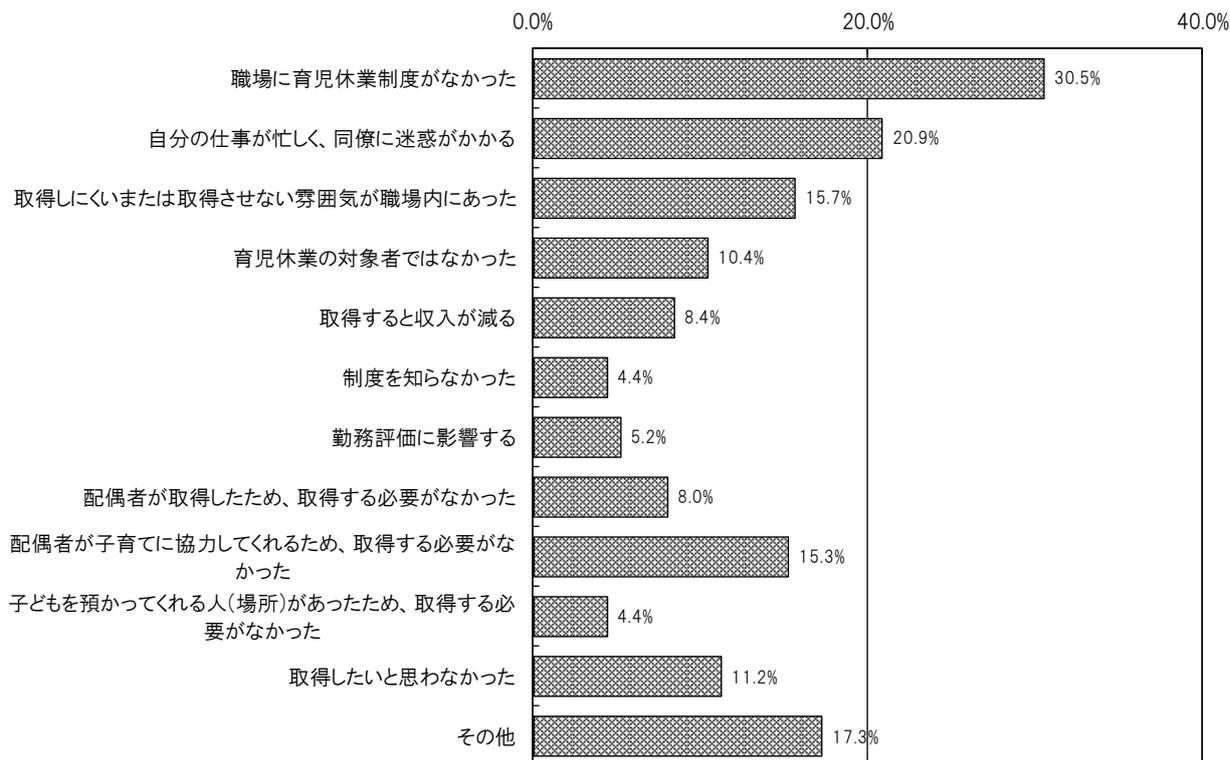


問 29 問 28 で「育児休業制度」を利用したことがあると答えなかった方。育児休業を取得しなかったのはなぜか（複数回答）

「職場に育児休業制度がなかった」が 30.5%で最も多く、続いて「自分の仕事が忙しく、同僚に迷惑がかかる」が 20.9%となっている。

選択項目	回答数	構成比
職場に育児休業制度がなかった	76	30.5%
自分の仕事が忙しく、同僚に迷惑がかかる	52	20.9%
取得しにくいまたは取得させない雰囲気が職場内にあった	39	15.7%
育児休業の対象者ではなかった	26	10.4%
取得すると収入が減る	21	8.4%
制度を知らなかった	11	4.4%
勤務評価に影響する	13	5.2%
配偶者が取得したため、取得する必要がなかった	20	8.0%
配偶者が子育てに協力してくれるため、取得する必要がなかった	38	15.3%
子どもを預かってくれる人(場所)があったため、取得する必要がなかった	11	4.4%
取得したいと思わなかった	28	11.2%
その他	43	17.3%
無回答	62	-
サンプル計	311	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)



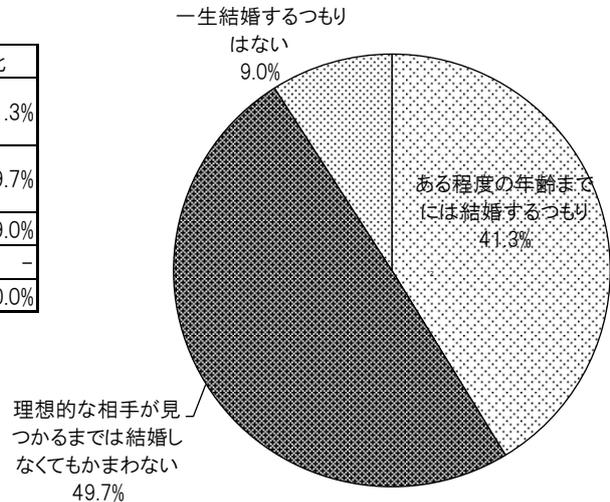
## 4 結婚したことがない方

問 30 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対する考えはどれか

「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」が 49.7%で最も多く、続いて「ある程度の年齢までには結婚するつもり」が 41.3%となっている。

選択項目	回答数	構成比
ある程度の年齢までには結婚するつもり	64	41.3%
理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない	77	49.7%
一生結婚するつもりはない	14	9.0%
無回答	16	-
計	171	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

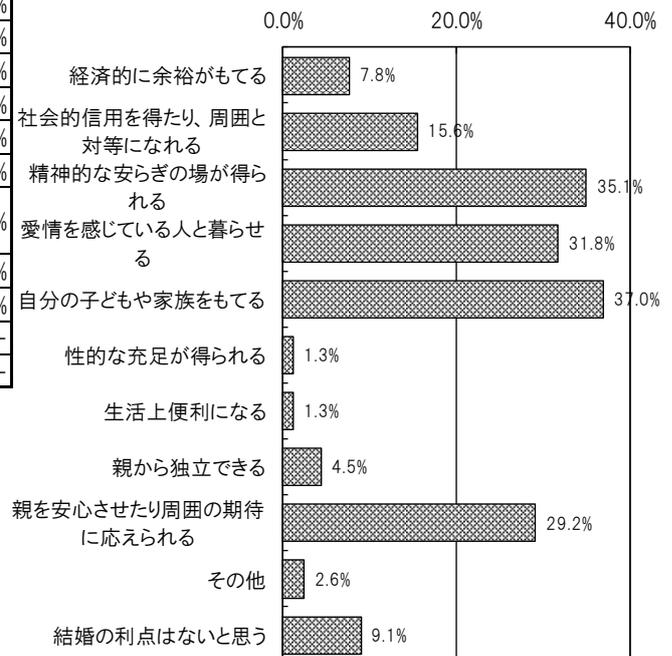


問 31 結婚の利点をどのように考えるか（複数回答/2つまで）

「自分の子どもや家族をもてる」が 37.0%で最も多く、続いて「精神的な安らぎの場が得られる」が 35.1%となっている。

選択項目	回答数	構成比
経済的に余裕がもてる	12	7.8%
社会的信用を得たり、周囲と対等になれる	24	15.6%
精神的な安らぎの場が得られる	54	35.1%
愛情を感じている人と暮らせる	49	31.8%
自分の子どもや家族をもてる	57	37.0%
性的な充足が得られる	2	1.3%
生活上便利になる	2	1.3%
親から独立できる	7	4.5%
親を安心させたり周囲の期待に応えられる	45	29.2%
その他	4	2.6%
結婚の利点はないと思う	14	9.1%
無回答	17	-
サンプル計	171	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出（複数回答）

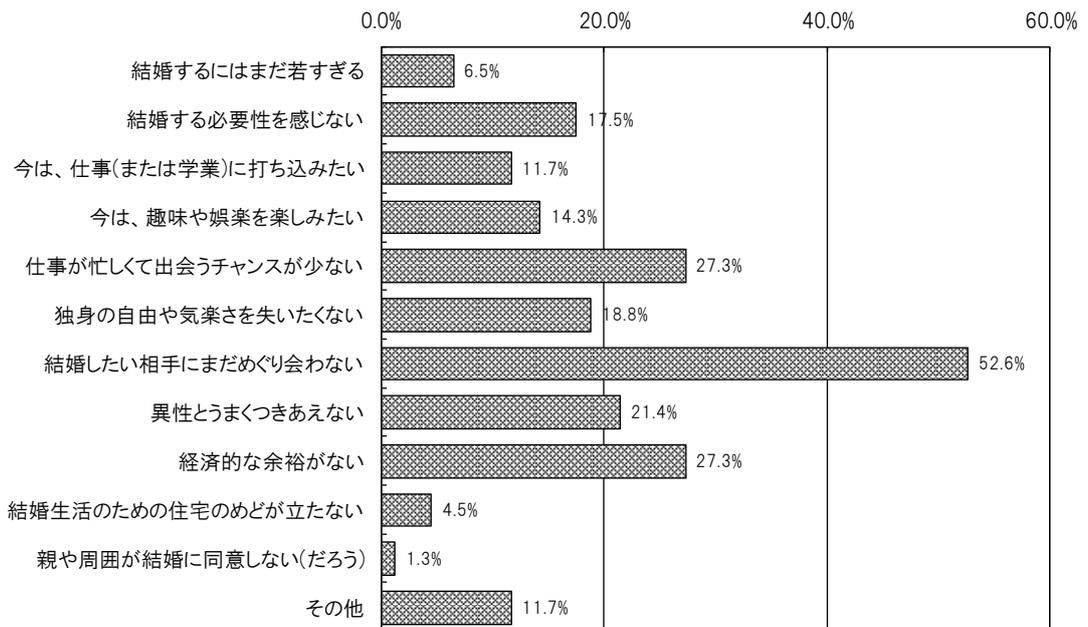


問 32 現在、あなたが独身でいる理由はどれか（複数回答/3つまで）

「結婚したい相手にまだめぐり合わない」が 52.6%で最も多く、続いて「仕事が忙しくて出会うチャンスが少ない」と「経済的な余裕がない」が同率で 27.3%となっている。

選択項目	回答数	構成比
結婚するにはまだ若すぎる	10	6.5%
結婚する必要性を感じない	27	17.5%
今は、仕事(または学業)に打ち込みたい	18	11.7%
今は、趣味や娯楽を楽しみたい	22	14.3%
仕事が忙しくて出会うチャンスが少ない	42	27.3%
独身の自由や気楽さを失いたくない	29	18.8%
結婚したい相手にまだめぐり合わない	81	52.6%
異性とうまくつきあえない	33	21.4%
経済的な余裕がない	42	27.3%
結婚生活のための住宅のめどが立たない	7	4.5%
親や周囲が結婚に同意しない(だろう)	2	1.3%
その他	18	11.7%
無回答	17	-
サンプル計	171	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)



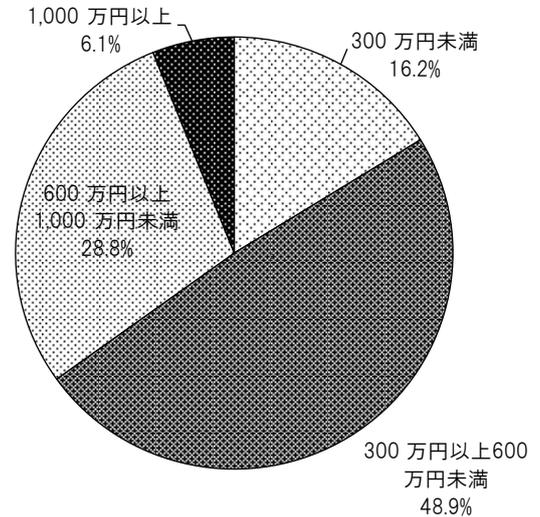
## 5 全員回答2

問 33 あなたのご家族全員の昨年1年間の収入の合計はいくらか

「300万円以上600万円未満」が48.9%で最も多く、続いて「600万円以上1,000万円未満」が28.8%となっている。

選択項目	回答数	構成比
300万円未満	115	16.2%
300万円以上600万円未満	346	48.9%
600万円以上1,000万円未満	204	28.8%
1,000万円以上	43	6.1%
無回答	35	-
計	743	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

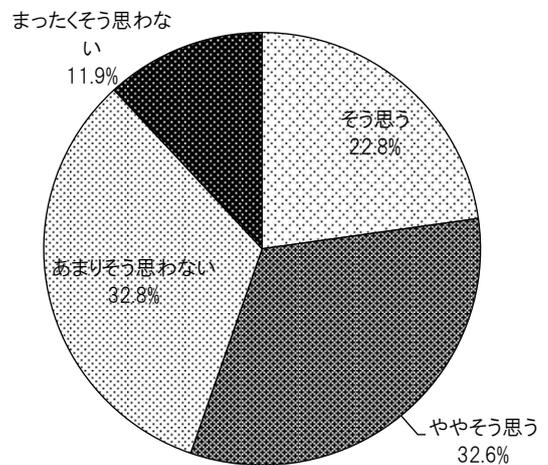


問 34 あなたにとって、仕事と生活のバランスはうまく取れていると思うか

「あまりそう思わない」が32.8%で最も多く、続いて「ややそう思う」が32.6%となっている。

選択項目	回答数	構成比
そう思う	165	22.8%
ややそう思う	236	32.6%
あまりそう思わない	238	32.8%
まったくそう思わない	86	11.9%
無回答	18	-
計	743	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

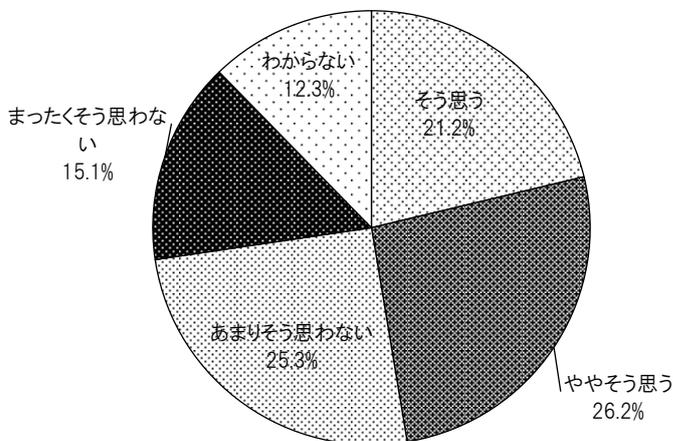


問 35 あなたの職場は、子育てをする人（男女問わず）にとって働きやすいと思うか

「ややそう思う」が 26.2%で最も多く、続いて「あまりそう思わない」が 25.3%となっている。

選択項目	回答数	構成比
そう思う	142	21.2%
ややそう思う	175	26.2%
あまりそう思わない	169	25.3%
まったくそう思わない	101	15.1%
わからない	82	12.3%
無回答	74	-
計	743	100.0%

※構成比は有効回答者数を母数として算出

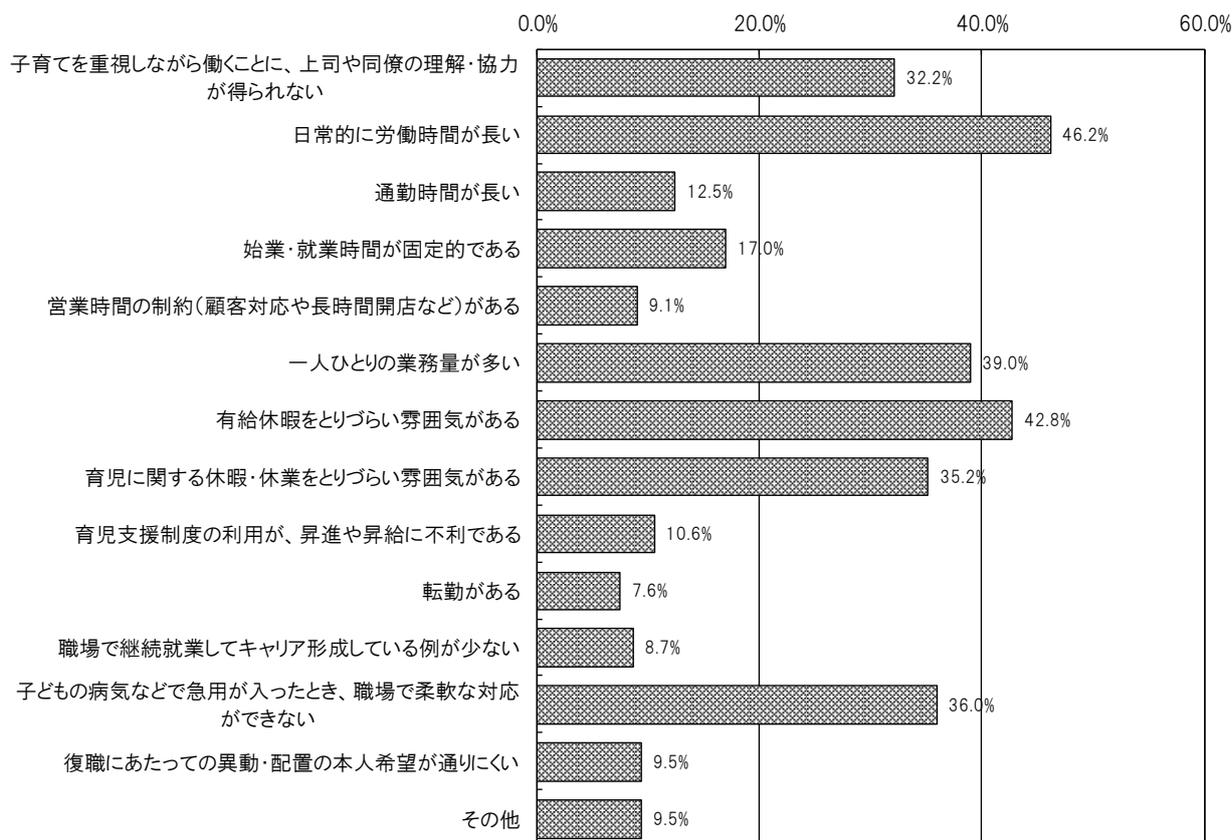


問 36 問 35 で「あまりそう思わない」または「まったくそう思わない」と答えた方。働きやすくないのは、何が原因だと思うか（複数回答）

「日常的に労働時間が長い」が 46.2%で最も多く、続いて「有給休暇をとりづらい雰囲気がある」が 42.8%となっている。

選択項目	回答数	構成比
子育てを重視しながら働くことに、上司や同僚の理解・協力が得られない	85	32.2%
日常的に労働時間が長い	122	46.2%
通勤時間が長い	33	12.5%
始業・就業時間が固定的である	45	17.0%
営業時間の制約（顧客対応や長時間開店など）がある	24	9.1%
一人ひとりの業務量が多い	103	39.0%
有給休暇をとりづらい雰囲気がある	113	42.8%
育児に関する休暇・休業をとりづらい雰囲気がある	93	35.2%
育児支援制度の利用が、昇進や昇給に不利である	28	10.6%
転勤がある	20	7.6%
職場で継続就業してキャリア形成している例が少ない	23	8.7%
子どもの病気などで急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない	95	36.0%
復職にあたっての異動・配置の本人希望が通りにくい	25	9.5%
その他	25	9.5%
無回答	6	-
サンプル計	270	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出（複数回答）

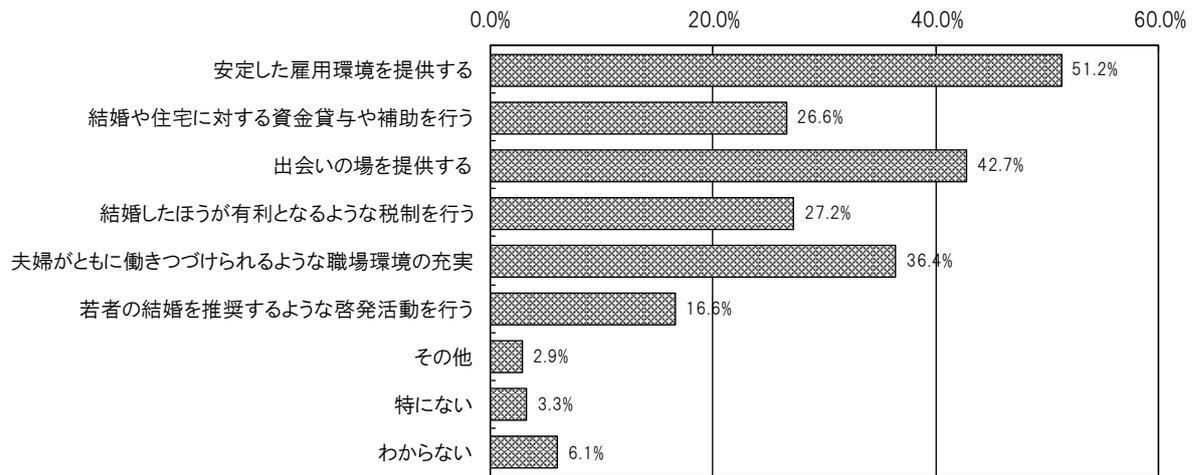


問 37 あなたは、「結婚を希望する人」の結婚を支援する施策として何が重要だと思うか（複数回答/3つまで）

「安定した雇用環境を提供する」が 51.2%で最も多く、続いて「出会いの場を提供する」が 42.7%となっている。

選択項目	回答数	構成比
安定した雇用環境を提供する	370	51.2%
結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行う	192	26.6%
出会いの場を提供する	309	42.7%
結婚したほうが有利となるような税制を行う	197	27.2%
夫婦がともに働きつけられるような職場環境の充実	263	36.4%
若者の結婚を推奨するような啓発活動を行う	120	16.6%
その他	21	2.9%
特にない	24	3.3%
わからない	44	6.1%
無回答	20	-
サンプル計	743	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)

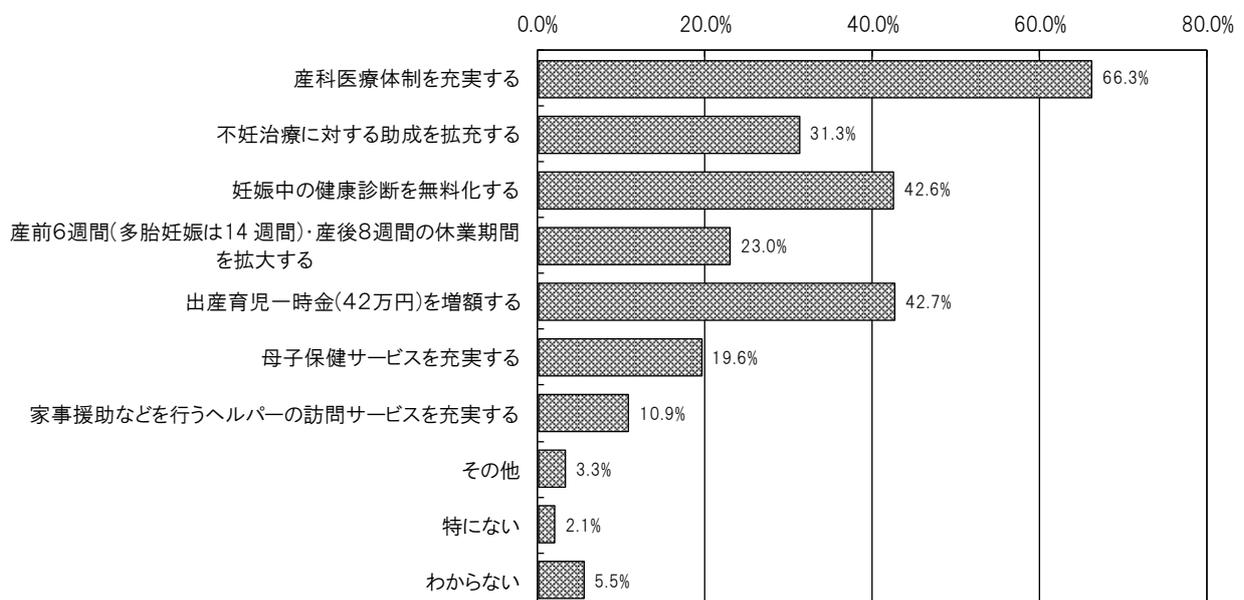


問 38 あなたは、安心して妊娠・出産ができる環境を整備する施策として何が重要だと思うか（複数回答/3つまで）

「産科医療体制を充実する」が 66.3%で最も多く、続いて「出産育児一時金(42万円)を増額する」が 42.7%、「妊娠中の健康診断を無料化する」が 42.6%となっている。

選択項目	回答数	構成比
産科医療体制を充実する	481	66.3%
不妊治療に対する助成を拡充する	227	31.3%
妊娠中の健康診断を無料化する	309	42.6%
産前6週間(多胎妊娠は14週間)・産後8週間の休業期間を拡大する	167	23.0%
出産育児一時金(42万円)を増額する	310	42.7%
母子保健サービスを充実する	142	19.6%
家事援助などを行うヘルパーの訪問サービスを充実する	79	10.9%
その他	24	3.3%
特にない	15	2.1%
わからない	40	5.5%
無回答	17	-
サンプル計	743	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)

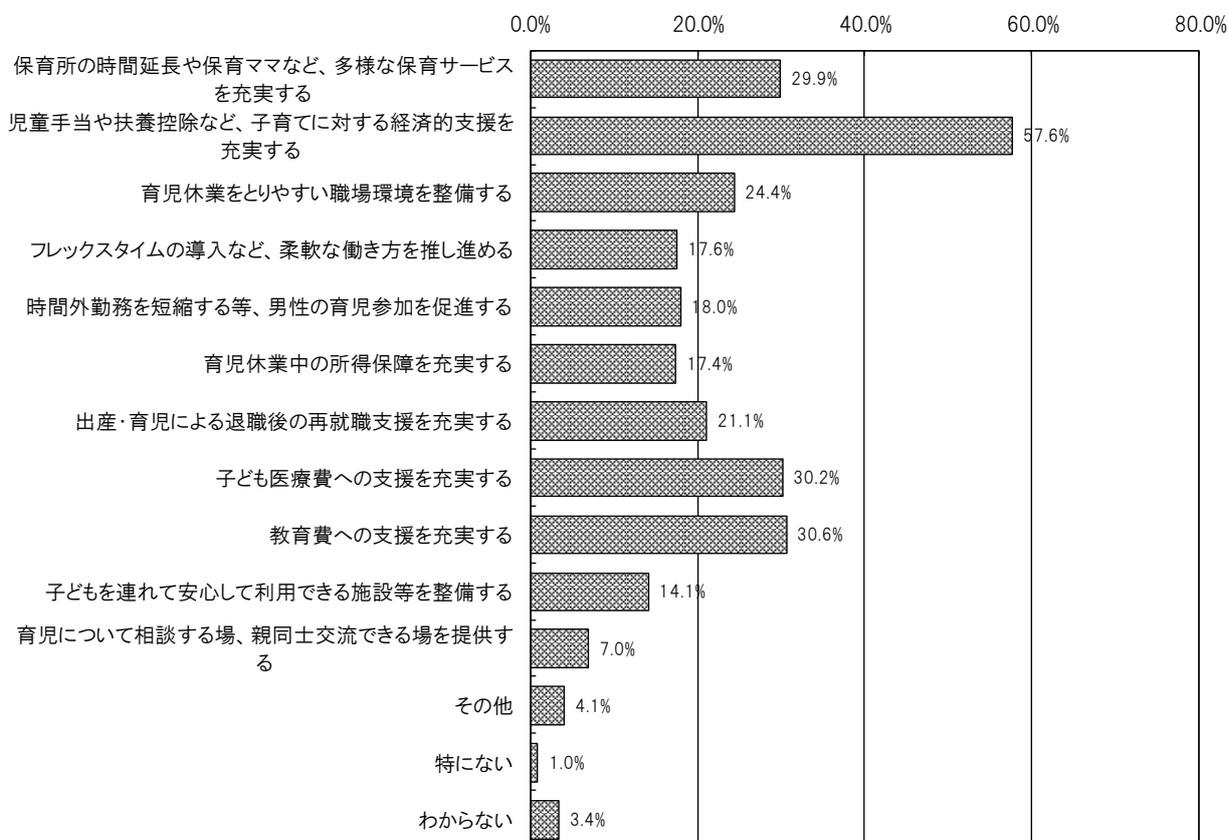


問 39 あなたは、子育てを支援する施策として何が重要だと思うか（複数回答/3つまで）

「児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する」が 57.6%で最も多く、続いて「教育費への支援を充実する」が 30.6%、「子ども医療費への支援を充実する」が 30.2%となっている。

選択項目	回答数	構成比
保育所の時間延長や保育ママなど、多様な保育サービスを充実する	218	29.9%
児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する	420	57.6%
育児休業をとりやすい職場環境を整備する	178	24.4%
フレックスタイムの導入など、柔軟な働き方を推し進める	128	17.6%
時間外勤務を短縮する等、男性の育児参加を促進する	131	18.0%
育児休業中の所得保障を充実する	127	17.4%
出産・育児による退職後の再就職支援を充実する	154	21.1%
子ども医療費への支援を充実する	220	30.2%
教育費への支援を充実する	223	30.6%
子どもを連れて安心して利用できる施設等を整備する	103	14.1%
育児について相談する場、親同士交流できる場を提供する	51	7.0%
その他	30	4.1%
特にない	7	1.0%
わからない	25	3.4%
無回答	14	-
サンプル計	743	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)



問 40 あなたは、子育てにおいて、地域社会における住民同士の助け合いとして、どのような活動があればいいと思うか（複数回答/3つまで）

「不意の外出の時などに子どもを預かる活動」が 39.2%で最も多く、続いて「子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動」が 38.5%、「子どもにスポーツや勉強を教えてくれる活動」が 38.1%となっている。

選択項目	回答数	構成比
子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動	278	38.5%
子育てで家庭の家事を支援する活動	105	14.5%
不意の外出の時などに子どもを預かる活動	283	39.2%
子どもと遊んでくれる活動	135	18.7%
子どもにスポーツや勉強を教えてくれる活動	275	38.1%
子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動	200	27.7%
子育てに関連した情報を簡単に入手しあえるような活動	189	26.2%
その他	15	2.1%
特にない	39	5.4%
わからない	50	6.9%
無回答	21	-
サンプル計	743	-

※構成比は有効回答者数を母数として算出(複数回答)

